

XG272-2K-OLED

ディスプレイ
ユーザーガイド

モデル番号 VS19852
P/N: XG272-2K-OLED

ViewSonic® をお選びいただき、 ありがとうございます

ViewSonic® は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic® では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択された ViewSonic® 製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic® をお選びいただき、
誠にありがとうございます。

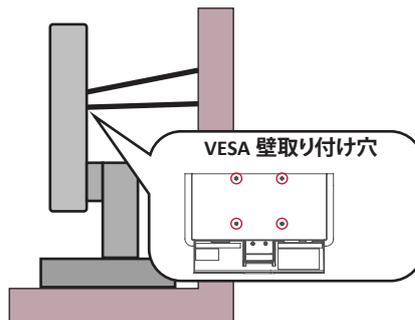
安全上のご注意

- デバイスを使用する前に、以下の安全上のご注意をお読みください。
- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- ご使用の際は、ディスプレイから45cm以上離れて座ってください。
- 換気を妨げないよう、ディスプレイの周囲、最低10cmは、清潔な状態を保ってください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- モニターセットのメーカーが推奨するキャビネットまたはスタンドまたは設置方法を常に使用してください。
- モニターを安全に支えることができる家具を常に使用してください。
- モニターがサポート家具の端からはみ出していないことを常に確認してください。
- 子供がいる可能性のある場所にモニターを置かないでください。
- モニターや関連機器に到達するために家具に登る危険性について、常に子供たちに教育してください。
- モニターに接続されているコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように、常に配線して管理してください。
- モニターの背面カバーを取り外すときは注意してください。本モニターには高電圧の部品が含まれます。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- ディスプレイは直射日光の当たる場所に置かないでください。また、エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。詳細は、本マニュアルの「メンテナンス」の章を参照してください。
- 画面に触れると油が付着する可能性があるため、画面には触れないでください。
- 画面の表面は傷つきやすいので、鋭利なものや硬いもので触れないようにしてください。
- モニターを不安定な場所に置かないでください。
- 家具とモニターの両方を適切なサポートに固定せずに、モニターを背の高い家具（食器棚や本棚など）に置かないでください。
- 製品とサポート家具の間にある可能性のある布やその他の素材の上にモニターを置かないでください。

- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- おもちゃやリモコンなど、子供が登る可能性のあるものを、製品が置かれているモニターや家具の上に置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店またはViewSonic®にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- 建物に設置されている配電システムを確認してください。システムは、定格120/240V、20Aの回路ブレーカーを提供する必要があります。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を外さないでください。アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなど、付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。電源コードまたはプラグが破損している、本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった、雨や湿気にさらしてしまったり、本体が正常に操作できない。または落としてしまった。
- 長時間大音量で聴いた場合、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

- 安定性上の危険性：ディスプレイが落下して、重大な人身事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。傷害を防ぐため、設置説明書に従って、本ディスプレイを床や壁にしっかりと固定してください。
- ロープやその他の拘束装置を使用してディスプレイを壁や固定物に固定すると、ディスプレイの重量を支え、ディスプレイの転倒を防ぐことができます。

穴パターン (W x H)	インターフェイスパッド (W x H x D)	パッド穴	ネジの仕様	数量
100 x 100 mm	115 × 115 × 2.6 mm	Ø 5 mm	M4 x 10 mm	4



注意事項：

- 拘束装置/ロープは100Nの力に耐えられる必要があります。
- コードがまっすぐになっていて、たるみがないことを確認してください。デバイスが外力で傾かないように、デバイスの背面を壁に向ける必要があります。
- デバイスのどの高さや回転角度でも、外力によってモニターが傾かないようにしてください。
- 既存のモニターを保持して再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用する必要があります。

目次

安全上のご注意	3
はじめに	8
付属品.....	8
各部の名称.....	9
セットアップ	10
スタンドの取付	10
リモコン	12
概要.....	12
リモコンのセットアップ.....	12
スタンドの取り外しとモニターの取り付け.....	13
セキュリティスロットの使用	15
本体の接続	16
電源との接続.....	16
外付け機器との接続.....	17
HDMI接続	17
DisplayPort接続.....	18
タイプC.....	19
USB接続	20
USBポートの使用	21
オーディオ接続.....	22
ディスプレイの使用	23
視聴角度の調整	23
高さ調整.....	23
ディスプレイ方向調整（ディスプレイピボット）.....	24
スウィーベル角度調整.....	25
傾き角度調整.....	26
本体電源のオン／オフ	27
Quick Access Menu（クイックアクセスメニュー）	28
ホットキー	29
設定	31
一般的な操作.....	31
メインメニュー構成.....	34
メニューオプション.....	39

拡張機能と設定	49
Variable Refresh Rate (VRR)	49
HDR (ハイダイナミックレンジ).....	50
ブルーライト低減および目の健康	51
休憩の計算.....	52
Focus Fatigue (20-20-20 Rule).....	52
遠くの物を見る.....	52
目と首の運動.....	52
ViewScale.....	53
Quick Access (クイックアクセス).....	54
Crosshair (十字線)	55
付録	56
仕様.....	56
用語説明.....	59
トラブルシューティング	64
メンテナンス.....	67
お手入れの際の注意.....	67
画面のお手入れ.....	67
ケースのお手入れ.....	67
規制およびサービス情報	68
コンプライアンス情報.....	68
FCCコンプライアンス声明.....	68
カナダ産業省の声明.....	68
欧州諸国のCE適合.....	68
RoHS2コンプライアンス宣言	69
インドの有害物質規制.....	70
製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄.....	70
電池に関する注意事項.....	71
安全上のご注意.....	71
著作権情報.....	73
カスタマーサポート	74
限定保証.....	75

はじめに

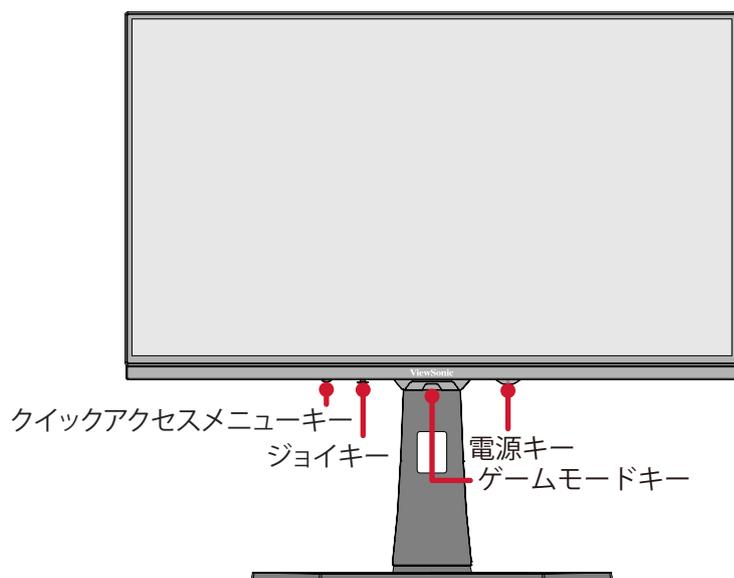
付属品

- モニター
- モニタースタンド
- 電源アダプタ
- ビデオケーブル
- リモコン
- 電池
- クイックスタートガイド

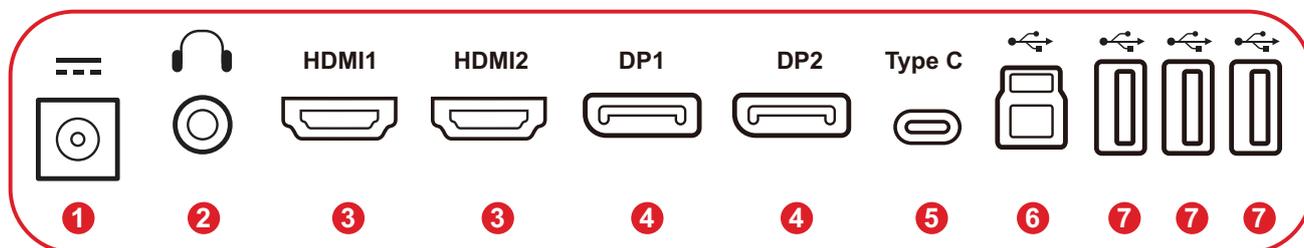
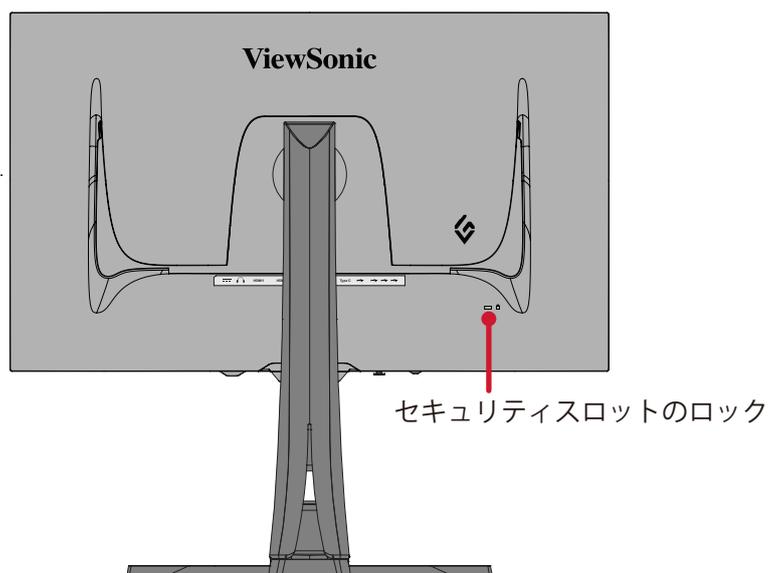
注意事項 同梱されている電源ケーブル / 電源アダプタとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。

各部の名称

前面



背面



1. DC IN

2. Audio Out

3. HDMI

4. DisplayPort

5. USB Type C

6. USB Upstream

7. USB Downstream

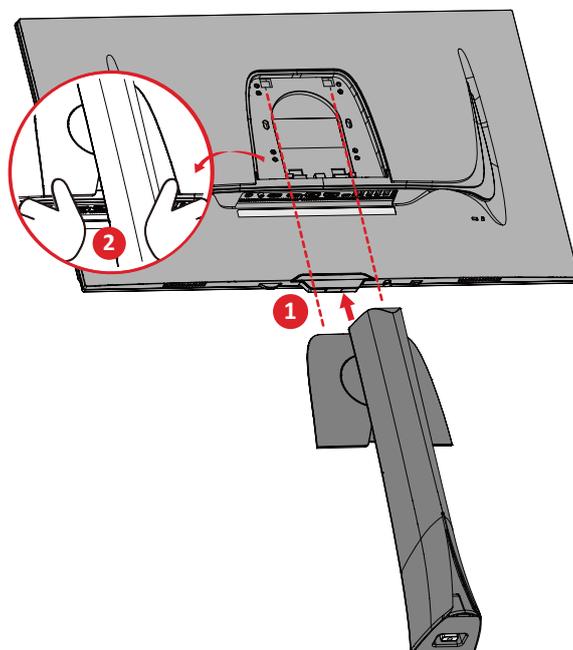
注意事項

☑ / ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンの機能に関する詳細については、29 ページの「コントロールボタンの使用」および「ホットキー」を参照してください。

セットアップ

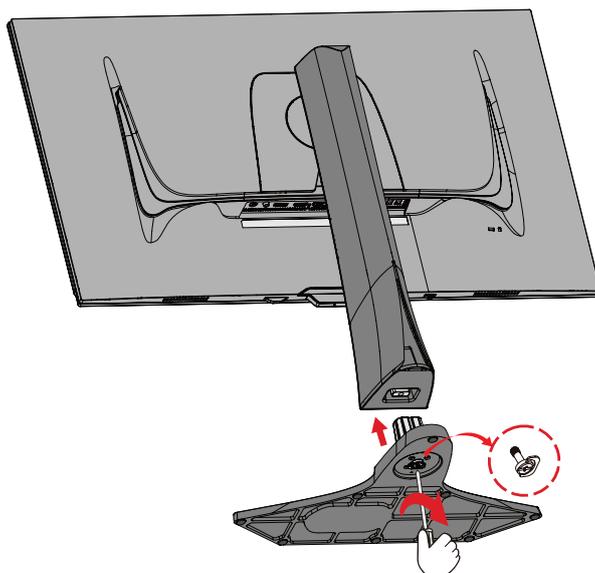
スタンドの取付

- ①. 画面を下にした状態で、ディスプレイを平らで安定した場所に置きます。
- ②. ネックスタンド上部のツメを、ディスプレイ側のスタンド取り付けスロットに合わせてスライドさせながらしっかりとはめこみます。

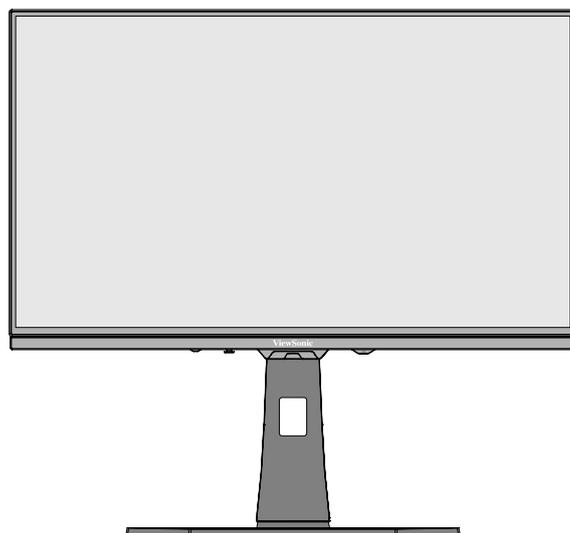


注意事項: クイックリリースタブが確実に所定の場所に固定されていることを確認してください。

- ③. スタンドのベースに取り付けたネジを使用し、スタンドのネックに固定します。



- ④. 本体を持ち上げ、平らで安定した場所に垂直に置きます。

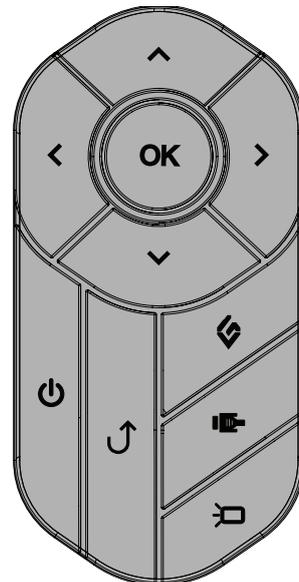


注意事項： 本体は常に、平らで安定した面に置いてください。本体が転倒・落下して、怪我や故障の原因となります。

リモコン

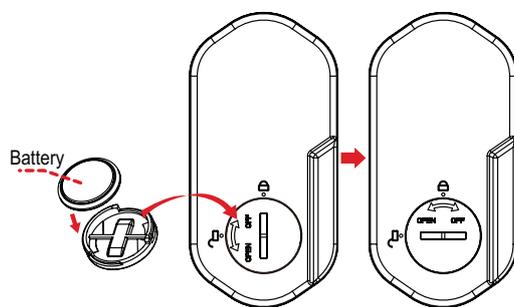
概要

アイコン		詳細
OK	OK	OSDメニューの選択を確定します。
	ナビゲーション用矢印	メニュー項目の選択や調整を行います。
	電源	モニターの電源をオンまたはオフにします。
	戻る	前のメニューレベルに戻ります。
	ゲームモード	ゲームに重点を置いたディスプレイ設定を選択します。
	入力ソース	入力ソースを選択します。
	輝度/コントラスト	輝度レベルとコントラストレベルを調整します。

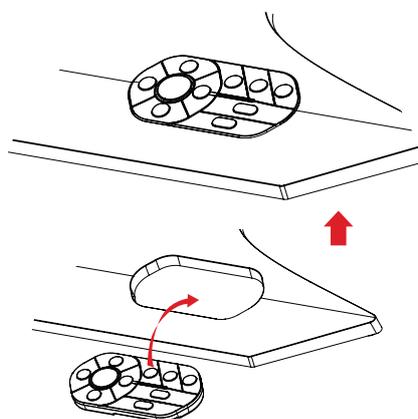


リモコンのセットアップ

1. リモコン底面の電池カバーを取り外し、電池を入れて電池カバーを取り付けます。



2. リモコンは、モニタースタンドのベース上にある指定された場所に置いてください。



スタンドの取り外しとモニターを取り付け

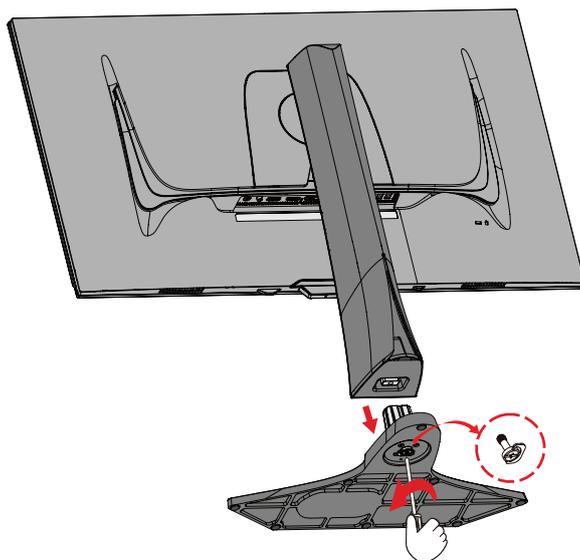
壁取り付けキットの標準寸法については、下の表を参照してください。

注意事項： UL 認定された壁取り付けキット / ブラケットのみを使用してください。壁取り付けキットまたは高さ調整ベースを入手するには、ViewSonic® またはお近くの販売店にお問い合わせください。

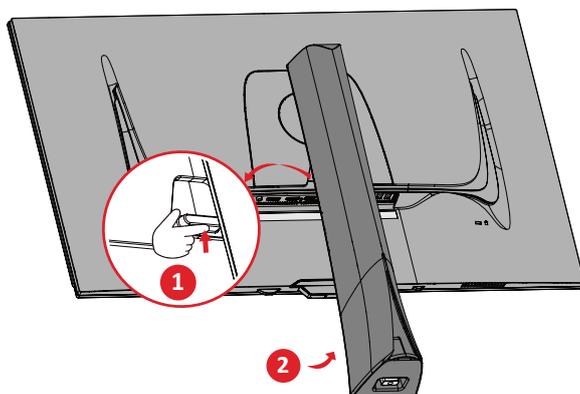
最大荷重	穴パターン (W x H)	インターフェイスパッド (W x H x D)	パッド穴	ネジの仕様	数量
14 kg	100 x 100 mm	N/A	N/A	M4 x 10 mm	4

注意事項： 壁取り付けキットは別売です。

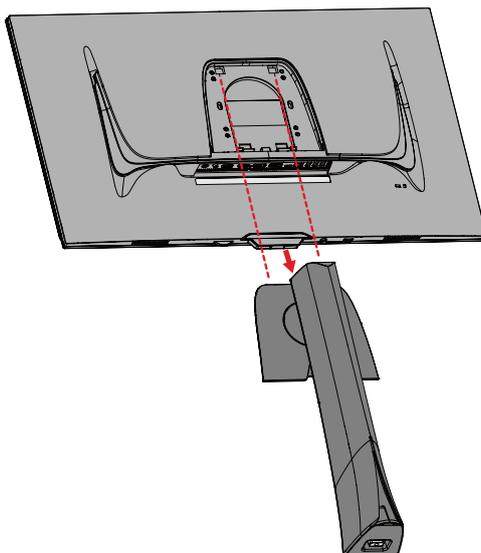
- ①. モニターの電源を切り、すべてのケーブルを外して、リモコンを取り外します。
- ②. 画面を下にした状態で、本体を平らで安定した場所に置きます。
- ③. ディスプレイスタンドのベースに取り付けたネジを使用し、ディスプレイスタンドのネックに固定します。



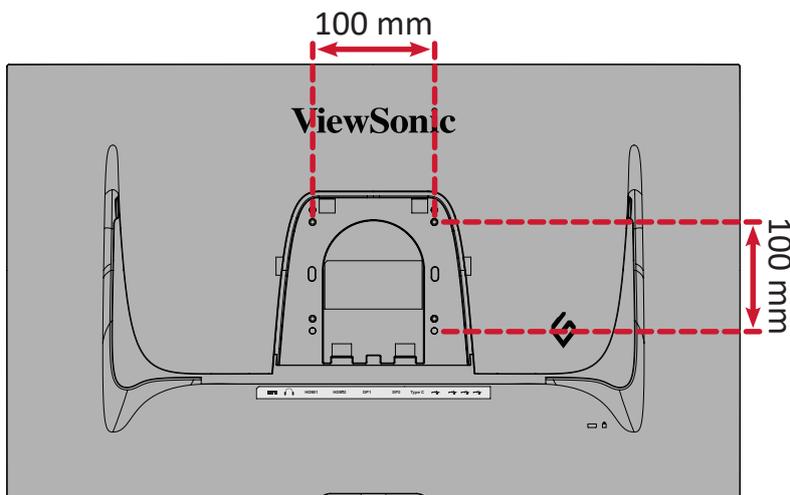
- ④. クイックリリースタブを押しながら、スタンドを注意深く持ち上げます。



⑤. 少し引き下げてフックを外し、スタンドを外します。



⑥. 取り付けブラケットを、本体背面にある VESA 取り付け口に取り付けます。次に 4 箇所を、③で取り外した 4 本のネジ (M4 × 10mm) で固定します。



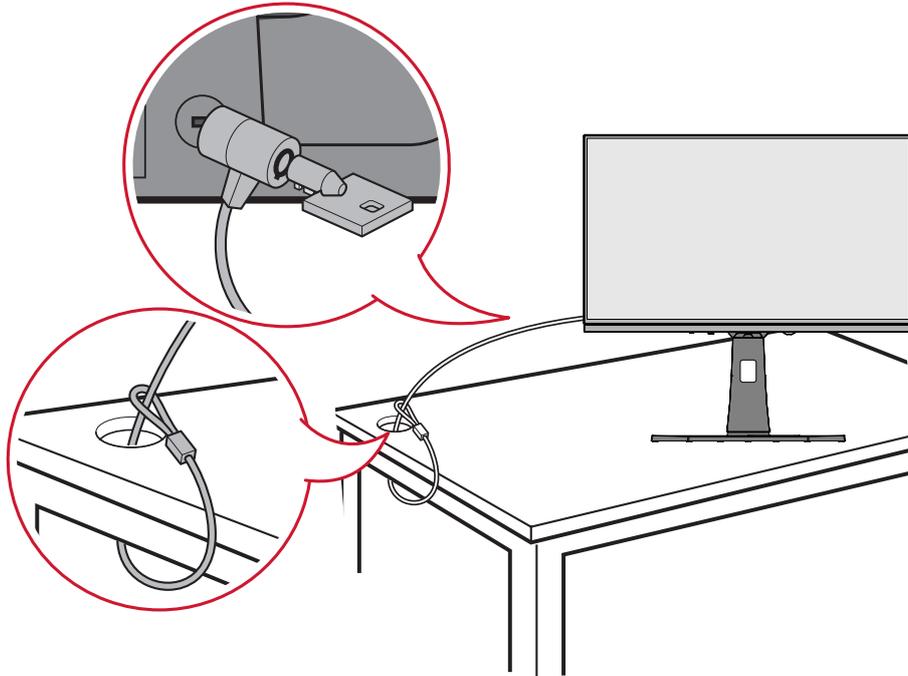
⑦. お客様が購入された市販の壁取り付けキットに付属の取扱説明書に従い、ディスプレイを壁に取り付けます。

セキュリティスロットの使用

本体の盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、本体を固定物に固定します。

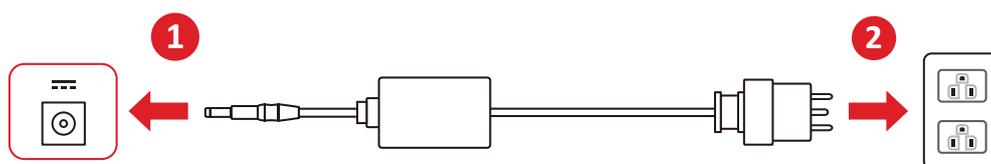
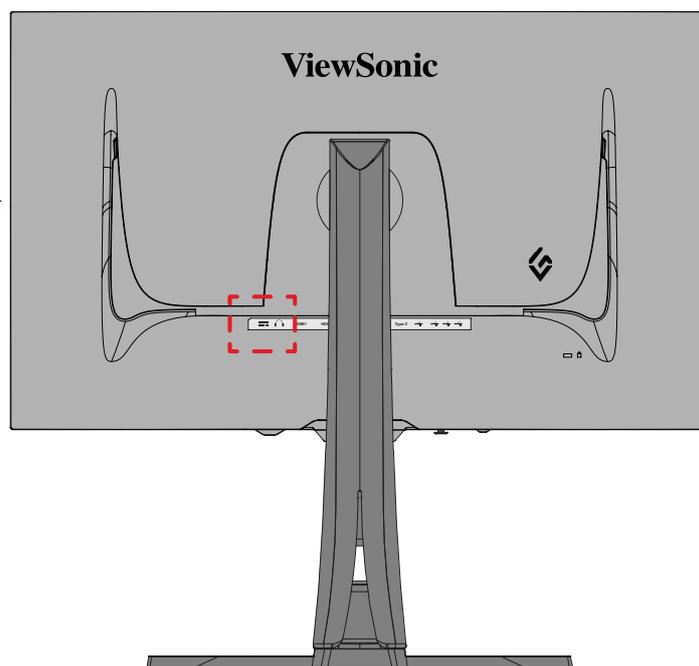
さらに、セキュリティケーブルを使用してモニターを壁や固定物に固定すると、モニターの重量を支え、モニターの転倒を防ぐことができます。

下図は、テーブルにセキュリティスロットロックデバイスを設定する例です。



本体の接続

電源との接続

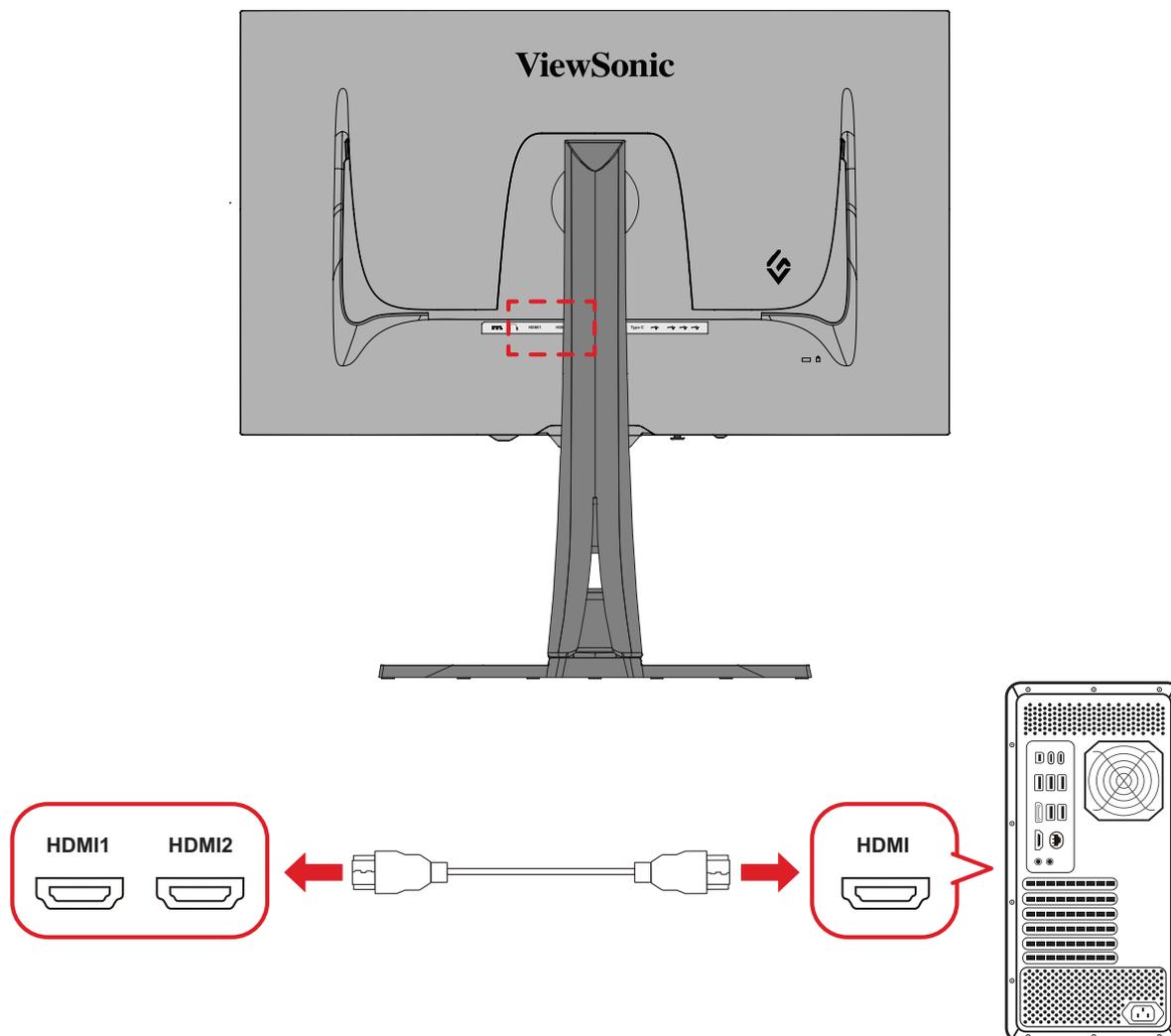


- ① 外部電源アダプターとつながっている電源ケーブルを本体後側の DC 入力ジャックに接続します。
- ② 電源プラグをコンセントに挿し込みます。

外付け機器との接続

HDMI 接続

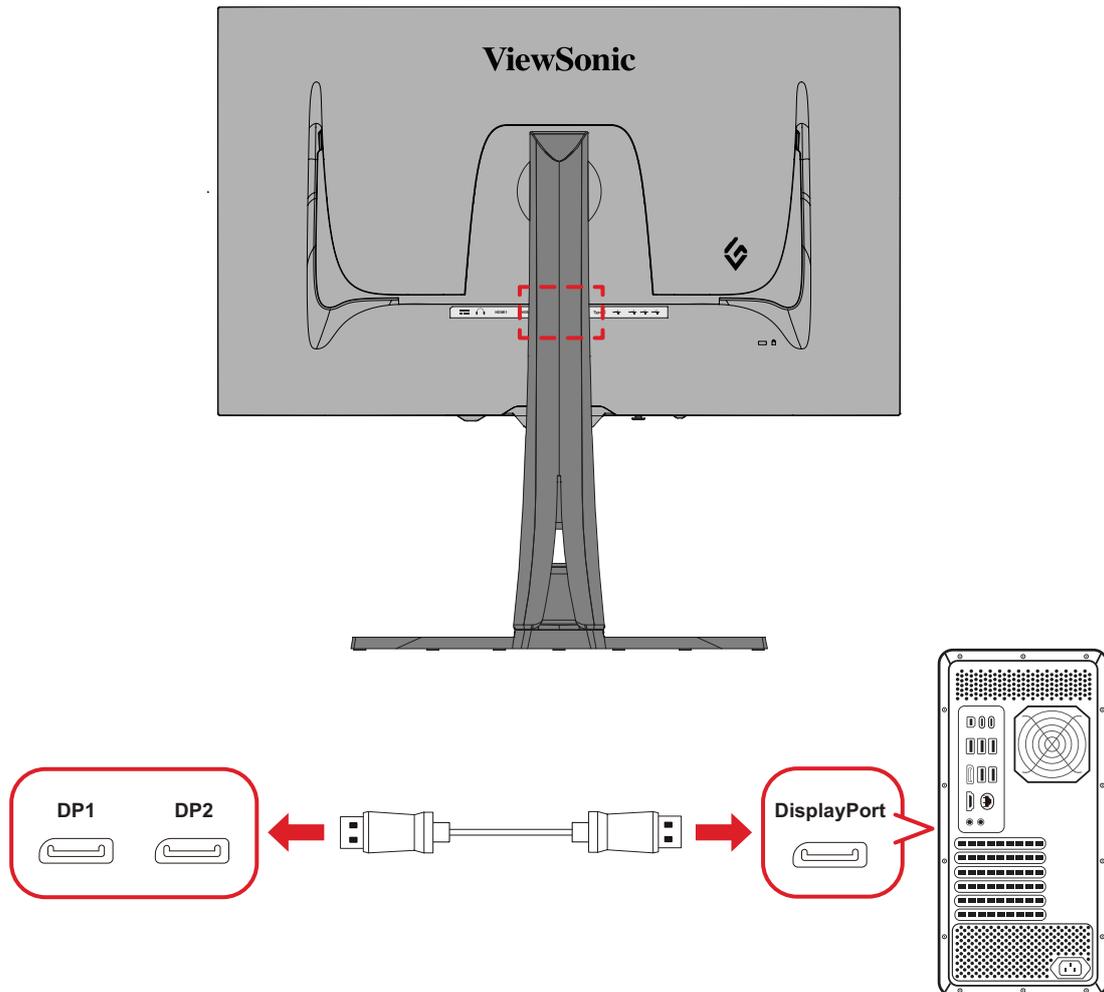
注意事項 ディスプレイは HDMI 2.1 に対応しております。



- ① HDMI ケーブルの片方をディスプレイ側の HDMI ポートに接続し。
- ② もう一方をコンピュータの HDMI ポートに接続します。

DisplayPort 接続

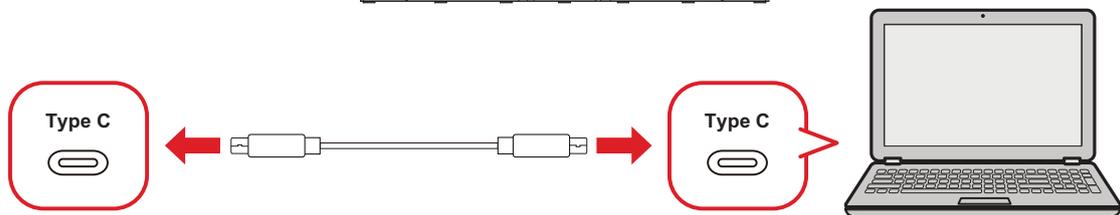
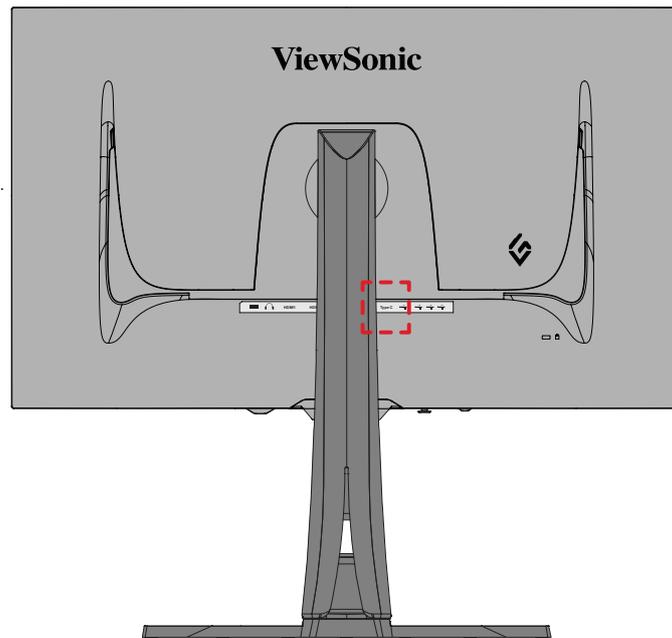
注意事項 ディスプレイは DisplayPort 1.4 に対応しております。



- ① DisplayPort ケーブルの片方を DisplayPort または mini DP ポートに接続します。
- ② もう一方をコンピュータの DisplayPort または MiniDP ポートに接続します。

注意事項 Mac の Thunderbolt ポート (v.1&2) にディスプレイを接続するには、「Mini DP to DisplayPort ケーブル」の MiniDP の先端を Mac の Thunderbolt 出力に接続します。その後ケーブルのもう一方を、ディスプレイの DisplayPort ポートに接続します。

タイプ c

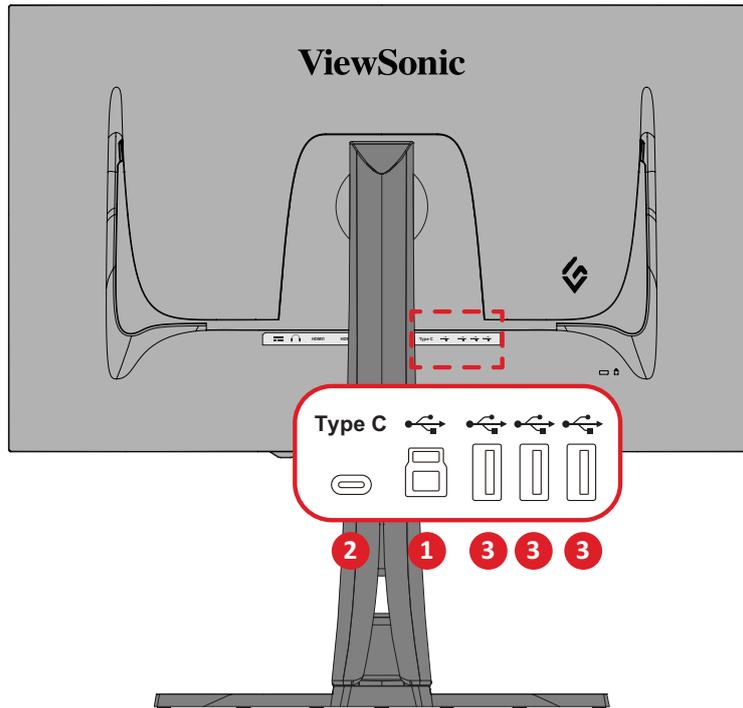


- ① タイプ c ケーブルの片方をディスプレイ側のタイプ c ポートに接続し。
- ② ケーブルのもう一方の端をコンピュータのフル機能 USB ポートに差し込みます。

注意事項 ビデオ出力を使用する場合は、使用する USB タイプ c 出力デバイス (ノートパソコンなど) とケーブルがビデオ信号伝送に対応していることを確認してください。

USB接続

モニターは、アップストリームとダウンストリームの2種類のUSBポートをサポートします。接続する際には、以下のガイドラインに従ってください。

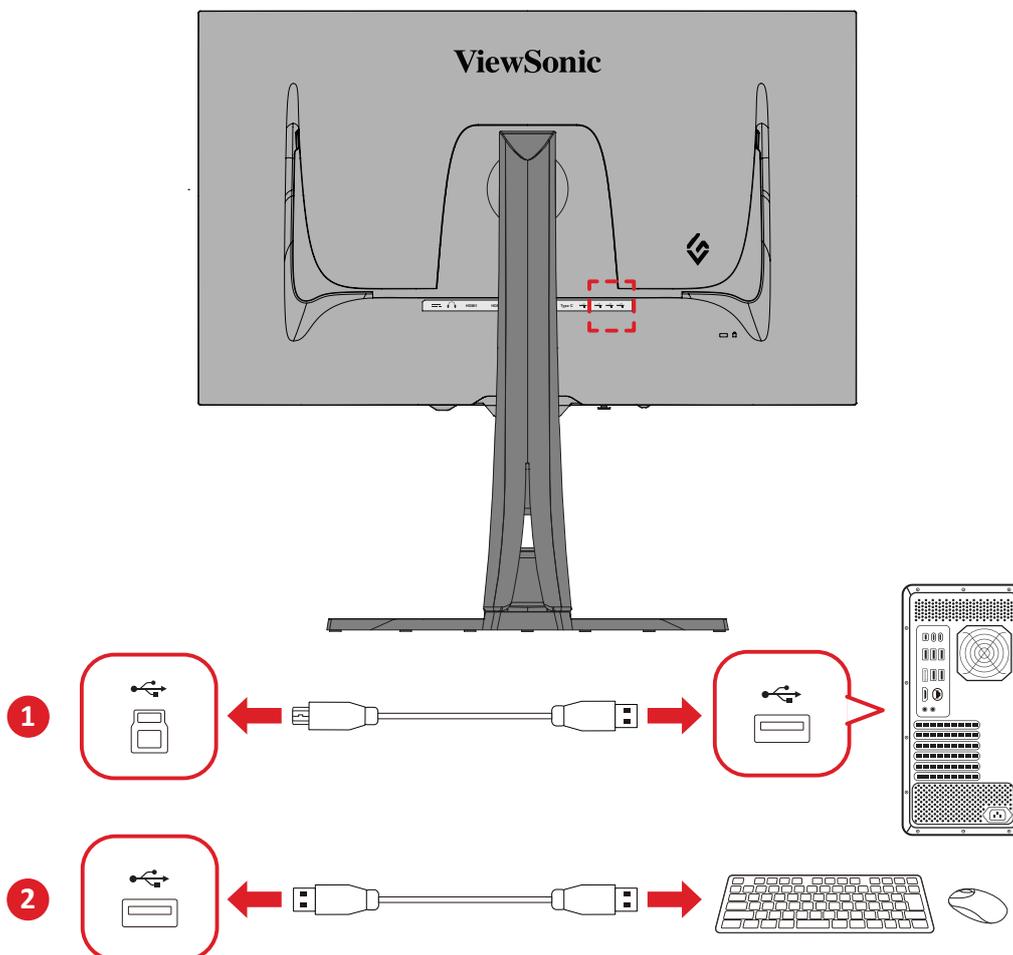


USBタイプ		接続タイプ	詳細
①	アップストリーム	タイプB	コンピュータとモニターに接続されたUSBデバイス間でデータを転送します。
②	ダウンストリーム	タイプC	オーディオ、ビデオ、電源を転送します。 サポート：15W電力供給および5V/3A充電。
③		タイプA	周辺機器（ストレージデバイス、キーボード、マウスなど）用です。 5V/2A充電をサポートします。 注記： 3つあるUSBタイプAポートをすべて同時に使用する場合、5V/2Aを維持することはできません。

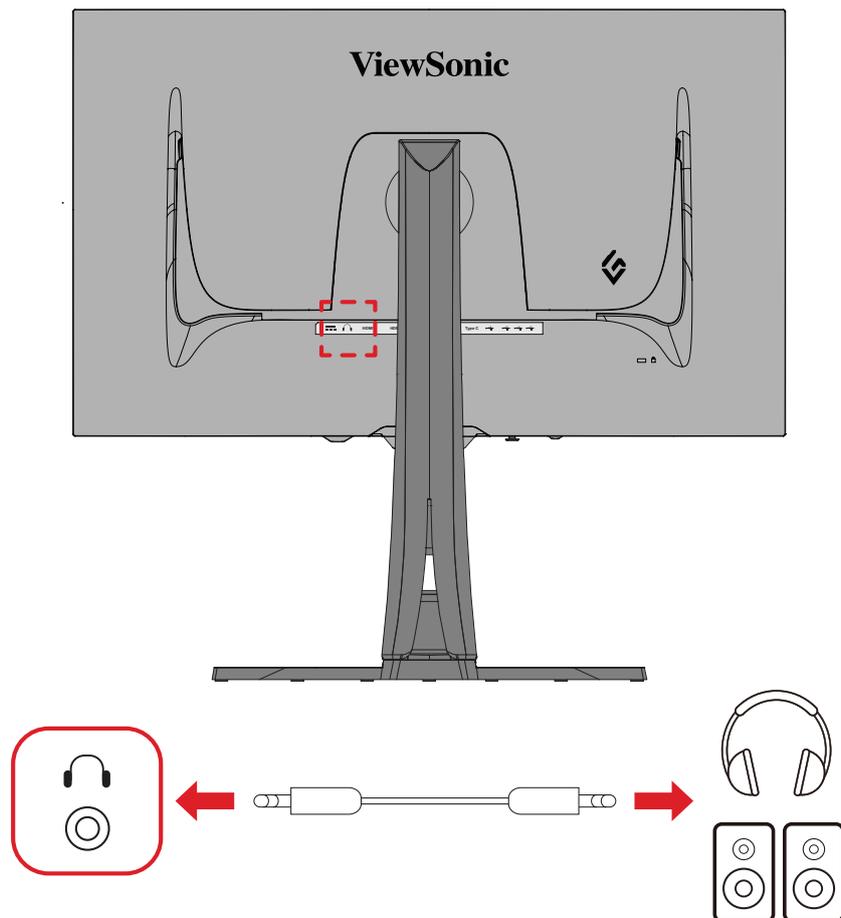
注意事項 USBタイプAポートを備えた周辺機器を使用する場合は、コンピュータをモニターのUSBタイプBポートに接続してください。

USB ポートの使用

- ① ダウンストリーム USB タイプ A ポートを使用するには、USB タイプ B ケーブルの一端をモニターのアップストリーム USB タイプ B ポートに接続します。ケーブルのもう一方の端 (USB タイプ A) をコンピュータの USB ポートに差し込みます。
- ② 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB タイプ A ポートに接続します。



オーディオ接続



イヤフォン/ヘッドフォンのオーディオジャックを、モニターのオーディオ出力ポートに接続します。

注意事項 モニターにはデュアルスピーカーも備わっています。

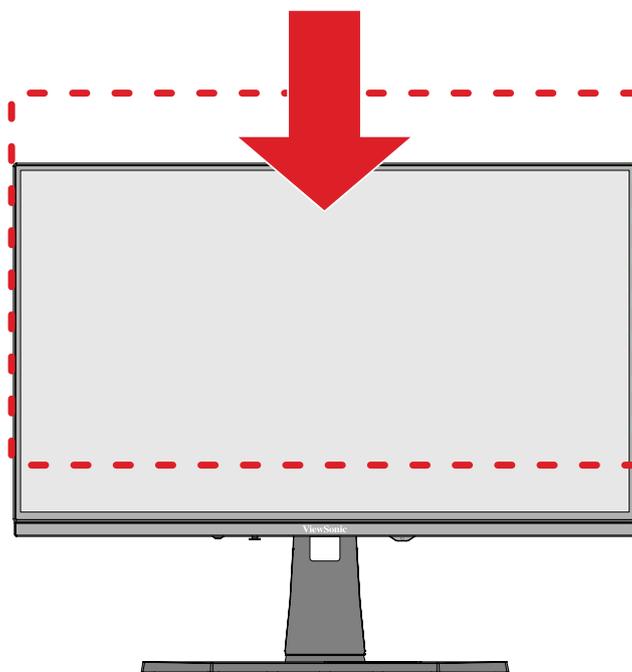
ディスプレイの使用

視聴角度の調整

快適にご視聴頂けるよう、次の通り角度を調整できます。

高さ調整

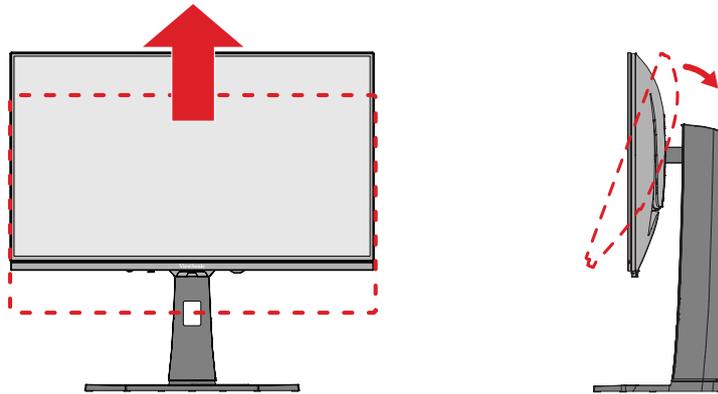
ディスプレイを上下 120 mm、お好みの高さに調整できます。



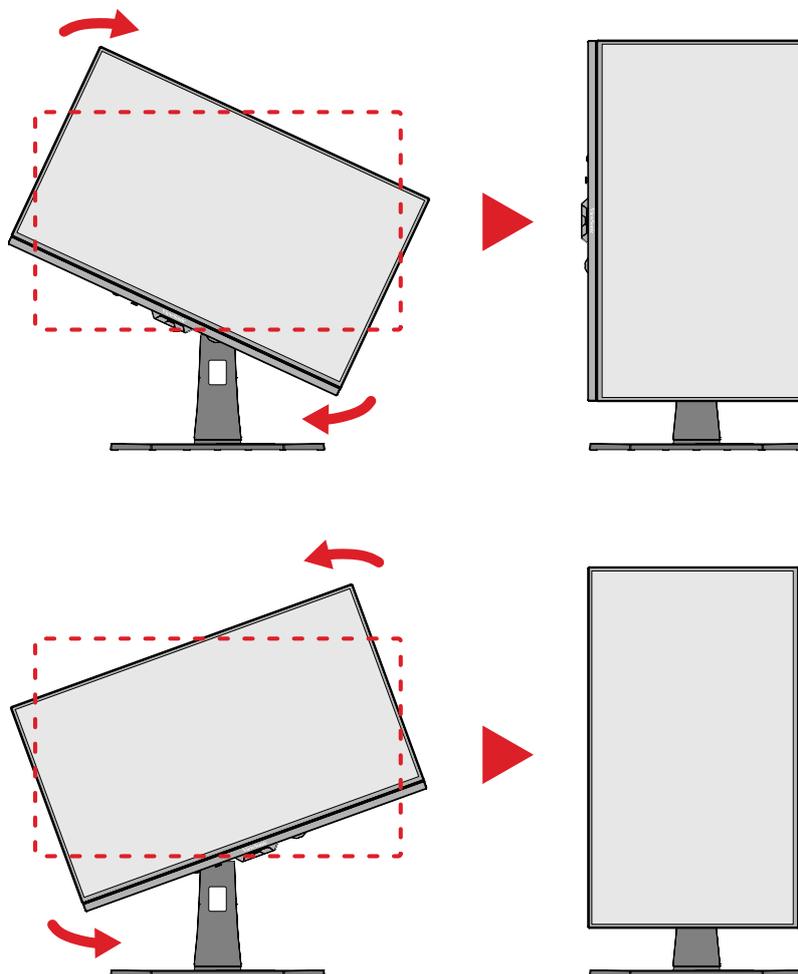
注意事項：調整するときは、両手でディスプレイを保持している調整トラックに沿ってしっかりと押し込みます。

ディスプレイ方向調整(ディスプレイピボット)

① ディスプレイの高さを最も高い位置にします。



② ディスプレイを90°時計回り、又は反時計回りに、横方向から縦方向に回転させます。

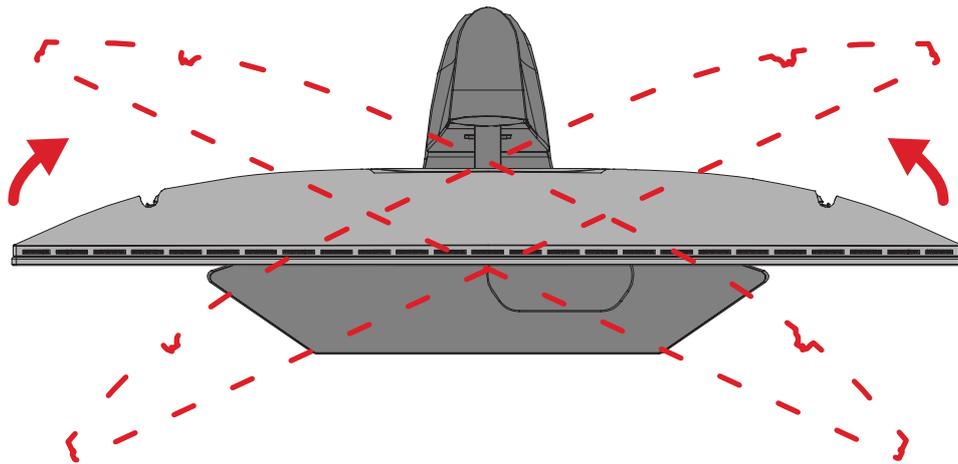


注意事項：

- ディスプレイを回転させる際は、画面の表示方向を手動で設定変更します。
- 調整する際は、必ずディスプレイの両脇をしっかりと両手で押さえてください。

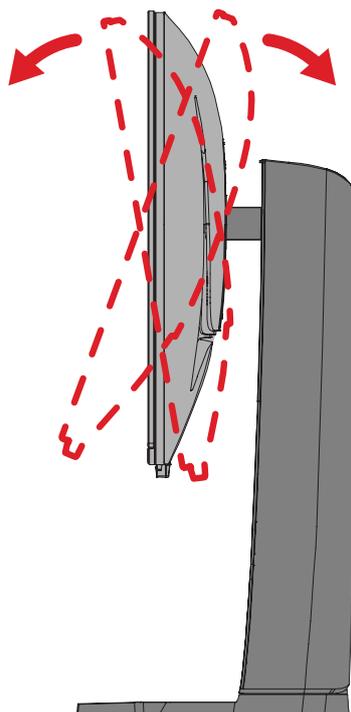
スウィーベル角度調整

ディスプレイを左右±20°までお好みの表示角度にできます。



傾き角度調整

ディスプレイを前後-5°~20°まで、お好きな表示角度に調整できます。

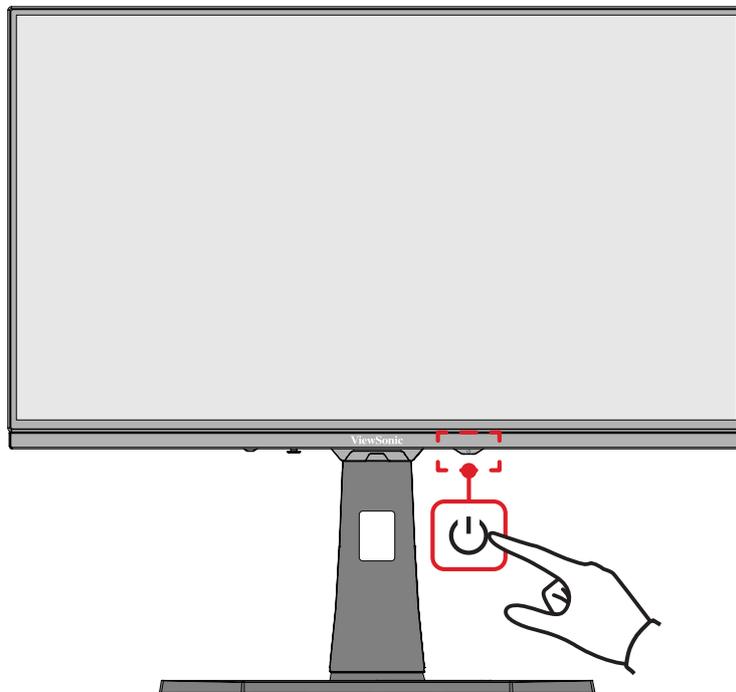


注意事項：ディスプレイの傾きを調整する際は、片方の手でスタンドをしっかりと支えながら行ってください。そして、もう一方の手でディスプレイを動かし、前方または後方に傾きを変えてください。

本体電源のオン／オフ

1. 接続した電源コードをコンセントに差し込みます。
2. 電源ボタンを押して、本体の電源を入れます。
3. 本体の電源を切るには、再度電源ボタンを押します。

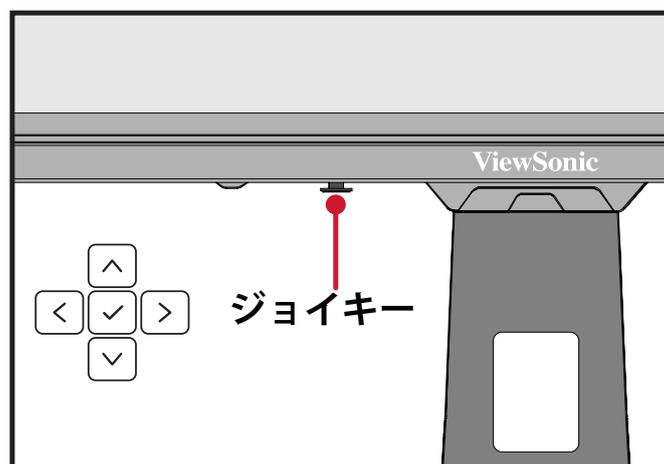
注意事項： OSD メニューが画面に表示されている場合は、電源ボタンを 3 秒間長押しして電源を切ります。



注意事項： 本体は、電源コードがコンセントに接続されている限り電力を消費します。本体を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

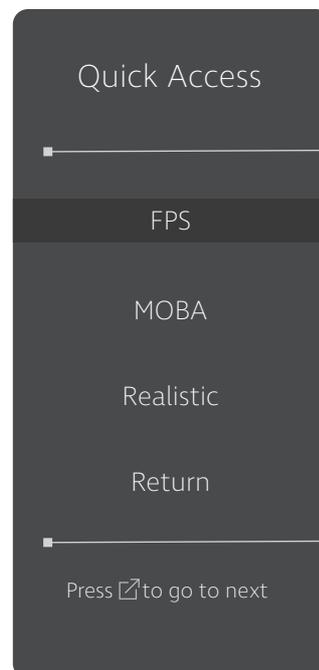
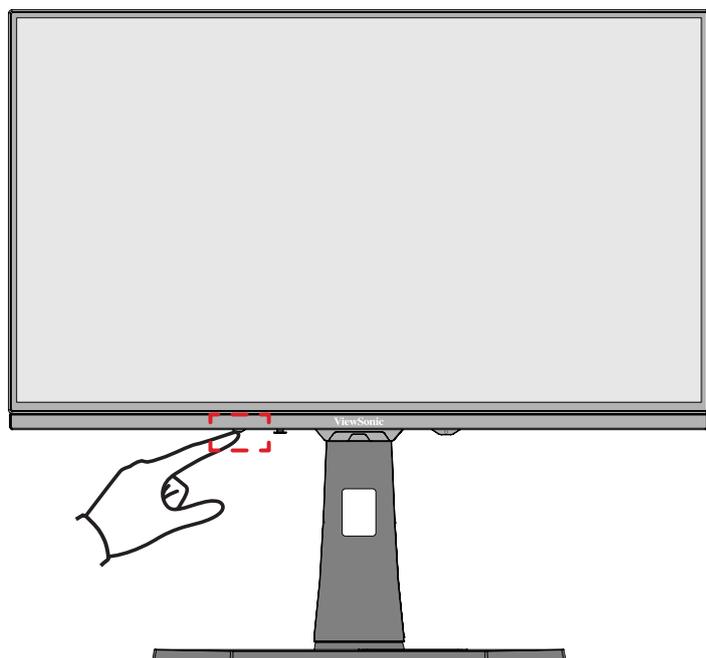
ジョイキーの使用

ジョイキーを使用してクイックアクセスメニューにアクセスします、ホットキーを有効にし、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをナビゲートし、設定を変更します。



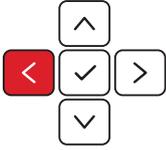
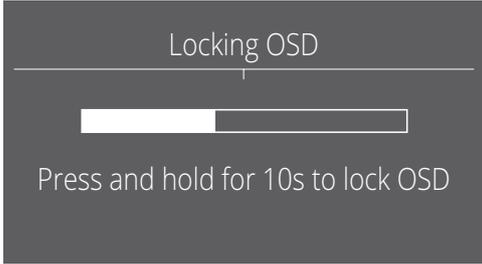
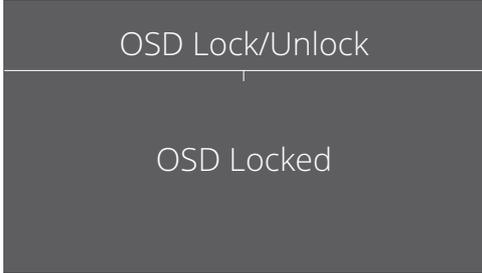
Quick Access Menu (クイックアクセスメニュー)

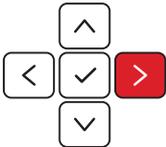
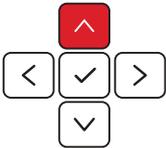
Quick Access Menu (クイックアクセスメニュー) キーを押すと、クイックアクセスメニューが有効になり、一部の機能とモードがすぐに開始されます。詳細は、53ページを参照してください。



ホットキー

ディスプレイ上のメインメニューがオフの場合、コントロールパネルのボタンを使用して特別な機能にアクセスできます。

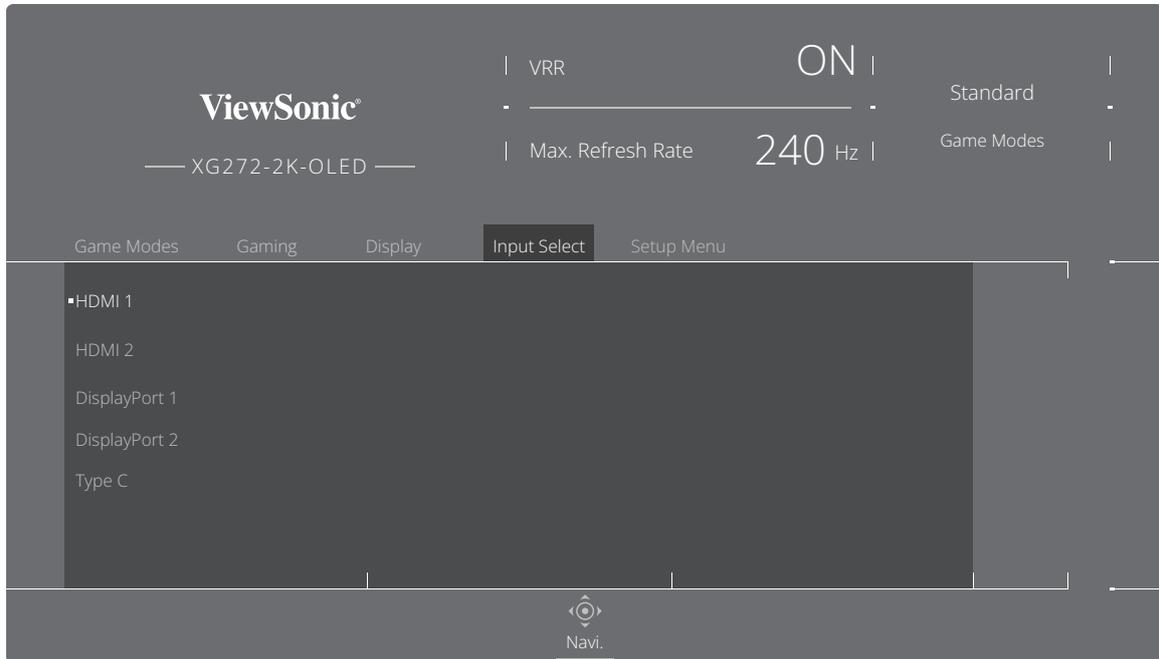
ボタン	詳細
	<p>ジョイキー ◀ を 5 秒間動かすと押しして、OSD メニューのロック / ロック解除を行います。</p> <p>メニューが画面に表示されたら、そのまま両方のキーを 10 秒間長押しして、OSD メニューのロック / ロック解除をします。</p> <div data-bbox="657 600 1139 864"></div> <p>メインメニューがロックされている場合は、画面に以下のメッセージが画面に表示されます。</p> <div data-bbox="657 994 1139 1267"></div>

ボタン	詳細
	<p>ジョイキー  を 5 秒間動かすと押しして、電源ボタンのロック / ロック解除を行います。</p> <p>メニューが画面に表示されたら、両方のキーを 10 秒間長押しして、電源ボタンのロック / ロック解除を行います。</p> <div data-bbox="655 421 1142 685" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> Locking Power Button <hr style="border: 0; border-top: 1px solid white; margin: 5px 0;"/> <div style="width: 50%; height: 10px; background: linear-gradient(to right, white 50%, black 50%); margin: 0 auto;"></div> Press and hold for 10s to lock Power </div> <p>電源ボタンがロックされている場合は、以下のメッセージが画面に表示されます。</p> <div data-bbox="655 808 1142 1081" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> Power Lock/Unlock <hr style="border: 0; border-top: 1px solid white; margin: 5px 0;"/> Power Button Locked </div>
	<p>本体に電源が入っている時に、ジョイキー  を 5 秒間動かすと押しして、起動画面を表示 / 非表示にできます。</p> <div data-bbox="655 1227 1142 1500" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> Boot Up Screen On/Off <hr style="border: 0; border-top: 1px solid white; margin: 5px 0;"/> Off Press to Turn On </div>

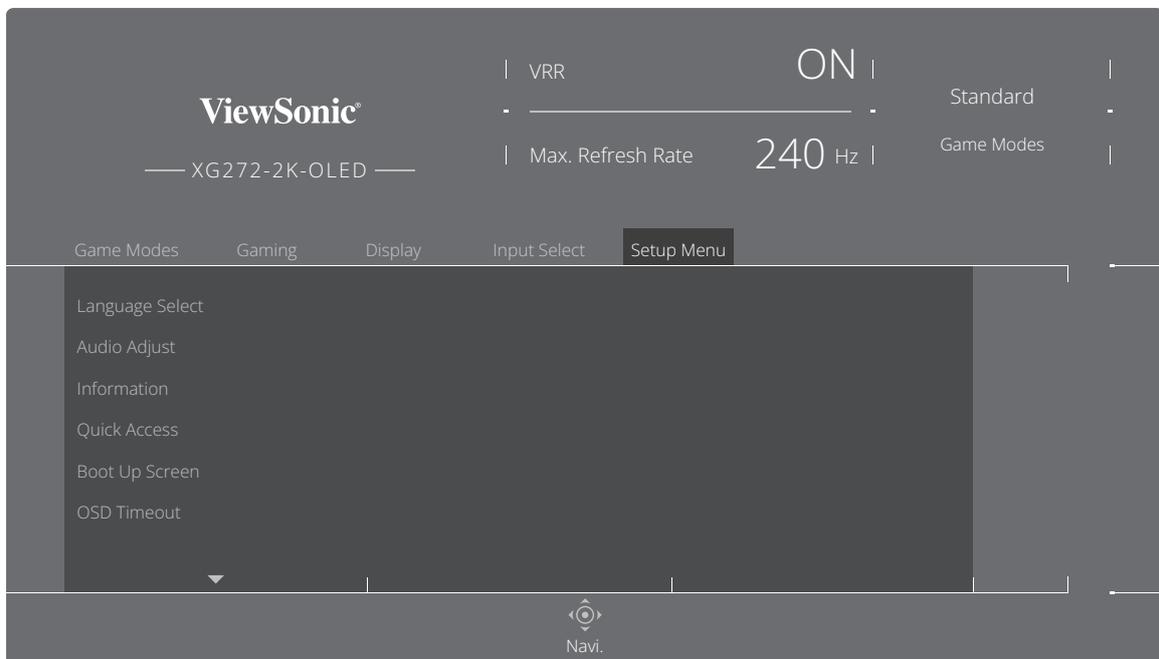
設定

一般的な操作

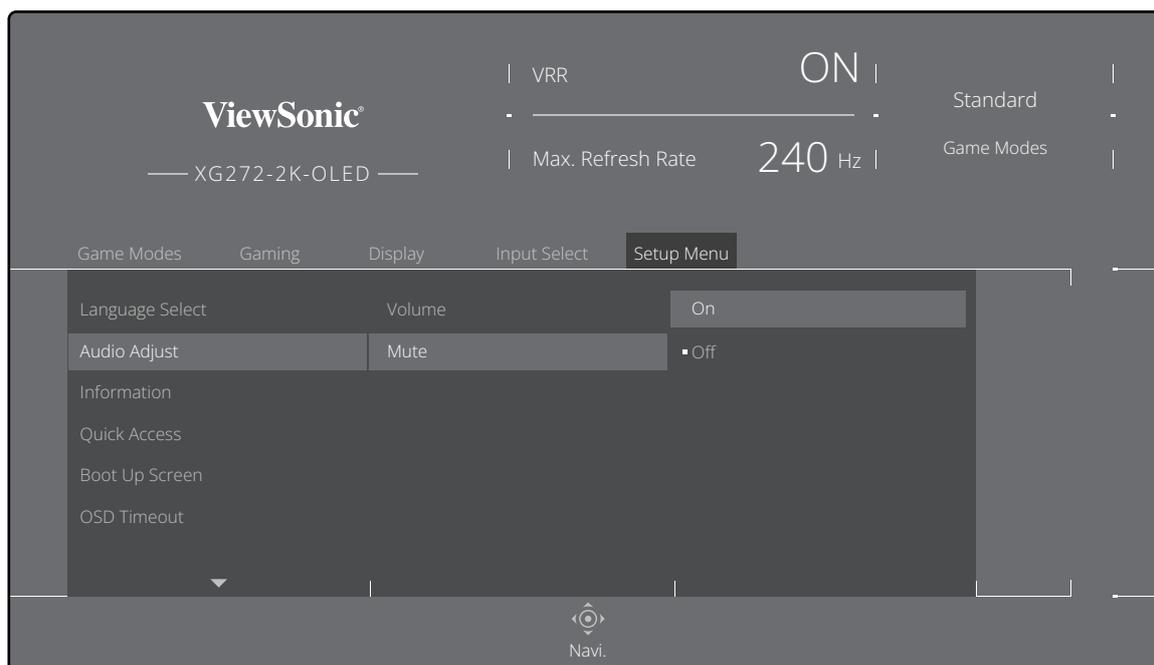
1. ジョイキー (↑) / (↓) / (←) / (→) を押すか (✓) と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。



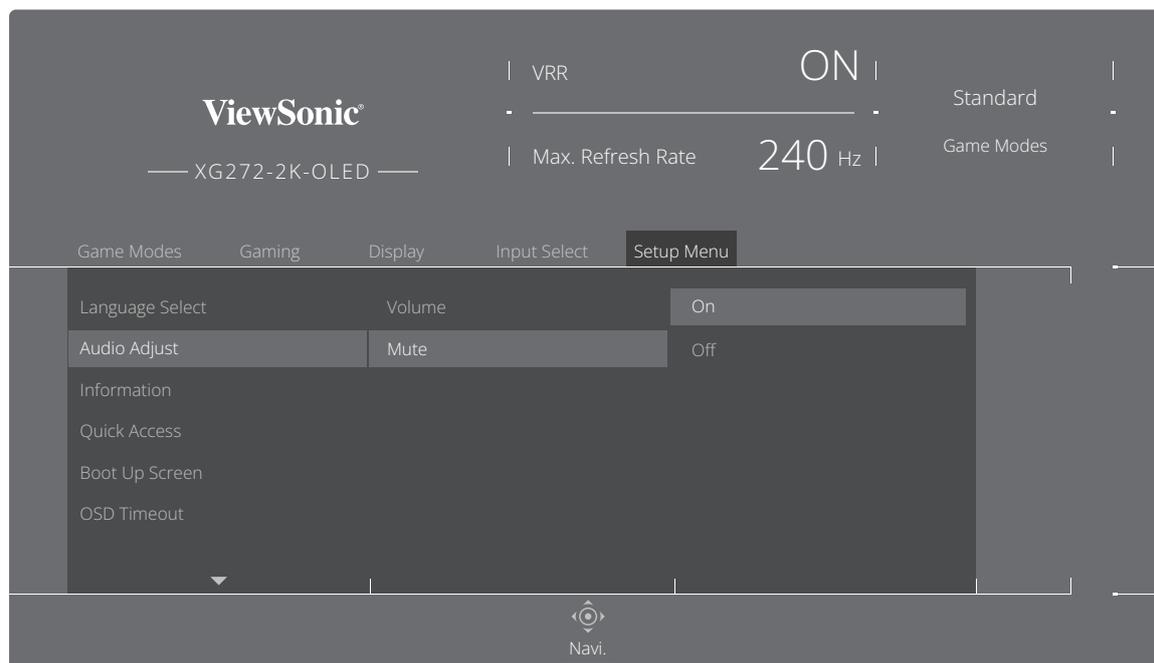
2. ジョイキー (←) または (→) を動かして、メインメニューを選択します。次に、ジョイキー (✓) を動かして、選択したメニューに入ります。



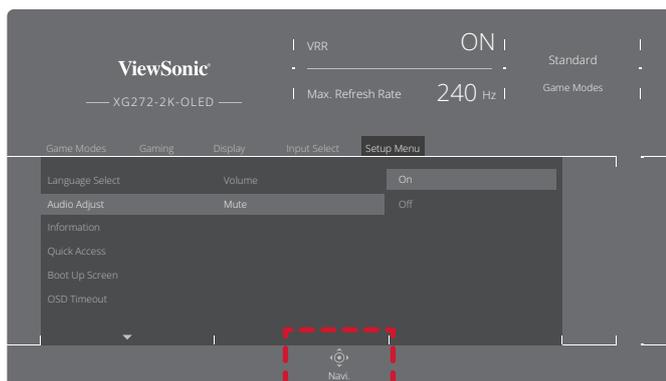
3. ジョイキー または を動かして、希望のメニューオプションを選択します。次に、ジョイキー を動かして、サブメニューに入ります。



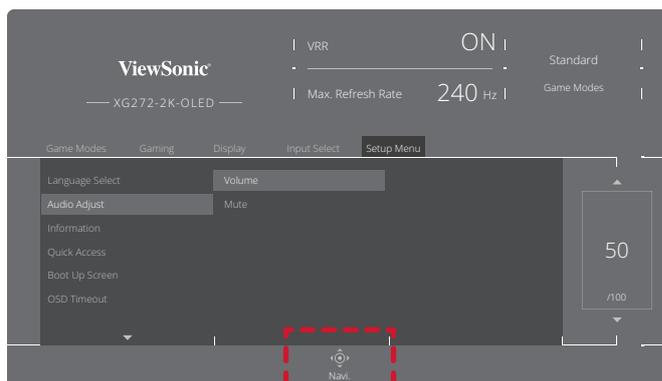
4. ジョイキー または を動かして、設定を調整 / 選択します。次に、 キーを押して、確定します。



注意事項：特定のメニューオプションの調整は、**ジョイキー**  を押して、選択を確認する必要がありません。



キーガイドアイコン



キーガイドアイコン

5. **ジョイキー**  を押して、前のメニューに戻ります。

メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Game Modes	Standard		
	Custom 1	Standard	
		Movie	
		Web	
		Text	
		MAC	
		Mono	
	Custom 2	Standard	
		Movie	
		Web	
		Text	
		MAC	
		Mono	
	FPS		
	MOBA		
Realistic			
Vibrant			
Console			
Gaming	VRR (Variable Refresh Rate)	On	
		Off	
	BFI	On	
		Off	
	BFI Minimum Hz	(+/-, 48~120)/1	
	BFI Strength	(+/-, 50~100)/10	
	HDR	DisplayHDR	
		CinematicHDR	
GameplayHDR			
Off			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Gaming	Crosshair	Type A	Green	Preview Image
			White	
			Yellow	
		Type B	Green	Preview Image
			White	
			Yellow	
		Type C	Green	Preview Image
			White	
			Yellow	
	Off			
	Gaming RGB	Single	Red	
			Dark Green	
			Blue	
			ICE Blue	
			Auto	
		Breathing	Red	
			Dark Green	
			Blue	
			ICE Blue	
Auto				
Off				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Display	Brightness	(-/+, 0~100)/1		
	Contrast	(-/+, 0~100)/1		
	Blue Light Filter	(-/+, 0~100)/1		
	Sharpness	(-/+, 0~100)/1		
	ViewScale	Full		
		Aspect		
		1:1		
		19" (4:3)		
		19"W (16:10)	(-/+, 0~100)/10	
		21.5" (16:9)	(-/+, 0~100)/10	
		22"W (16:10)		
		23.6"W (16:9)		
		24"W (16:9)		
	Color Temperature	sRGB		
		Bluish		
		Cool		
		Native		
		Warm		
		Full Color Control	Red	(-/+, 0~100)/1
		Green	(-/+, 0~100)/1	
		Blue	(-/+, 0~100)/1	
	Color Adjust	Color Space	Auto	
			RGB Mode	
YUV Mode				
Color Range		Auto		
		Full Range		
		Limited Range		
Color Saturation		(-/+, 0~100)/1		
Black Stabilization		(-/+, 0~22)/1		
Input Select	HDMI 1			
	HDMI 2			
	DisplayPort 1			
	DisplayPort 2			
	Type C			

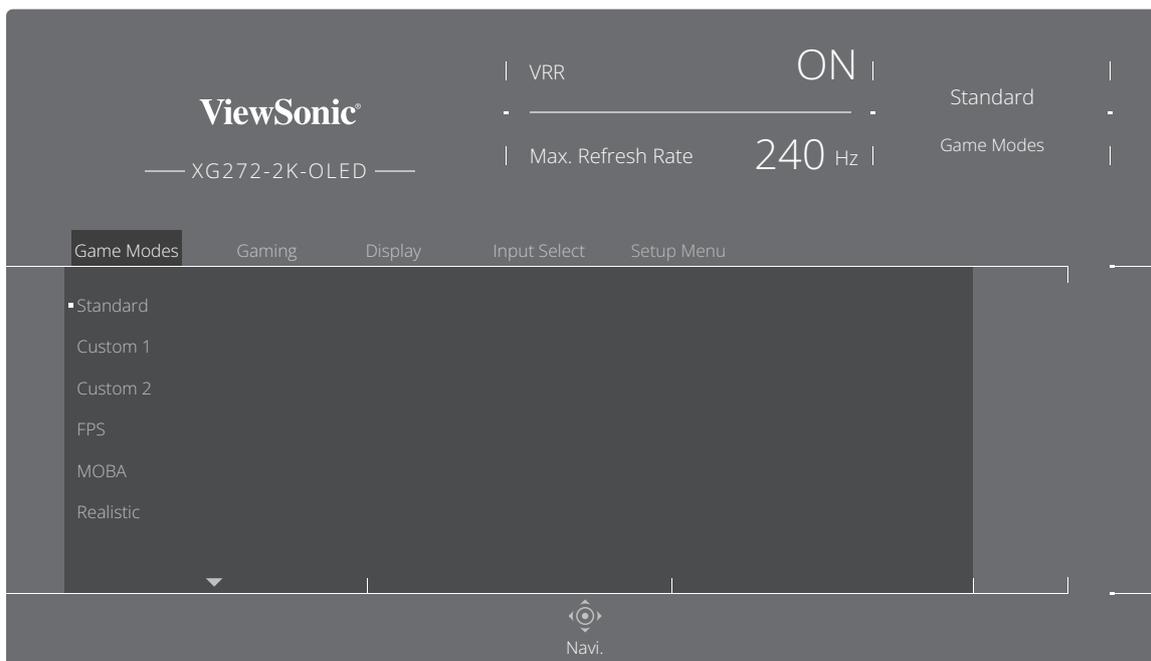
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setup Menu	Language Select	English		
		Français		
		Deutsch		
		Español		
		Italiano		
		Suomi		
		Русский		
		Türkçe		
		日本語		
		한국어		
		繁體中文		
		简体中文		
		Česká		
		Svenska		
	Tiếng Việt			
	Audio Adjust	Volume	(-/+ , 0~100)/1	
		Mute	On	
			Off	
	Information			
	Quick Access	FPS	On/Off	
		MOBA	On/Off	
		Realistic	On/Off	
		Vibrant	On/Off	
		Console	On/Off	
		Custom 1	On/Off	
		Custom 2	On/Off	
	Boot Up Screen	On		
Off				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション
Setup Menu	OSD Timeout	5/15/30/60
	OSD Background	On
		Off
	OSD Pivot	On
		Off
	Power Indicator	On
		Off
	Auto Power Off	On
		Off
	Sleep	30 minutes
		45 minutes
		60 minutes
		120 minutes
		Off
	ECO Mode	Standard
		Optimize
		Conserve
		Energy Saving
	DDC/CI	On
		Off
HDMI 2.0	On	
	Off	
DisplayPort 1.2	On	
	Off	
Standby Charger	On	
	Off	
Memory Recall		

メニューオプション

Game Modes (ゲームモード)

1. ジョイキー (↑) / (↓) / (←) / (→) を押すか と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー (←) または (→) を動かして、**Game Modes (ゲームモード)** を選択します。次に、ジョイキー (↓) を動かして、**Game Modes (ゲームモード)** メニューに入ります。

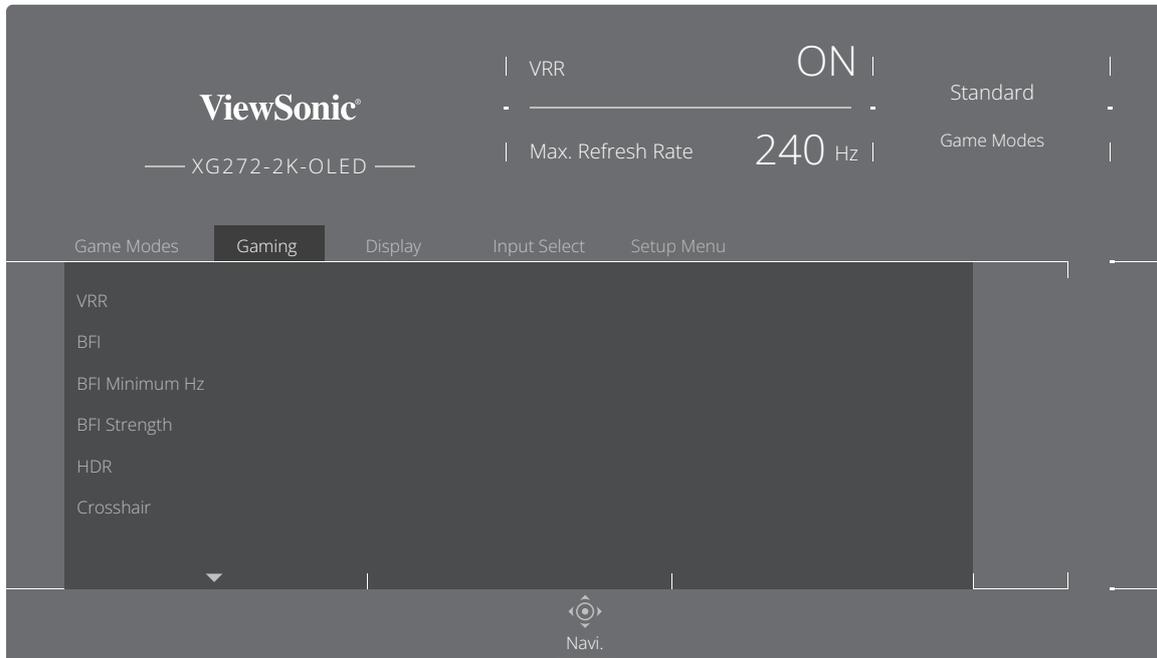


3. ジョイキー (↑) または (↓) を動かして、設定を選択します。次に、ジョイキー を押して、選択を確定します。

メニューオプション	詳細
Standard (標準)	一般的な使用の場合は、このオプションを選択します。
Custom 1/2 (カスタム 1/2)	2つのカスタマイズ可能な「カスタム」設定により、個々の好みを一致させ、市場のあらゆる種類のゲームに適応させることができます。
FPS	一人称シューティングゲームに最適です。
MOBA	マルチプレイヤーオンラインバトルアリーナゲームの場合は、このオプションを選択します。
Realistic (リアリスティック)	忠実にカラーを表現します。
Vibrant (バイブラント)	青々とした飽和色を表現します。
Console (コンソール)	コンソールの色精度です。

Gaming (ゲーム)

1. ジョイキー (↑) / (↓) / (←) / (→) を押すか (✓) と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー (←) または (→) を動かして、**Gaming (ゲーム)** を選択します。次に、ジョイキー (↓) を動かして、**Gaming (ゲーム)** メニューに入ります。



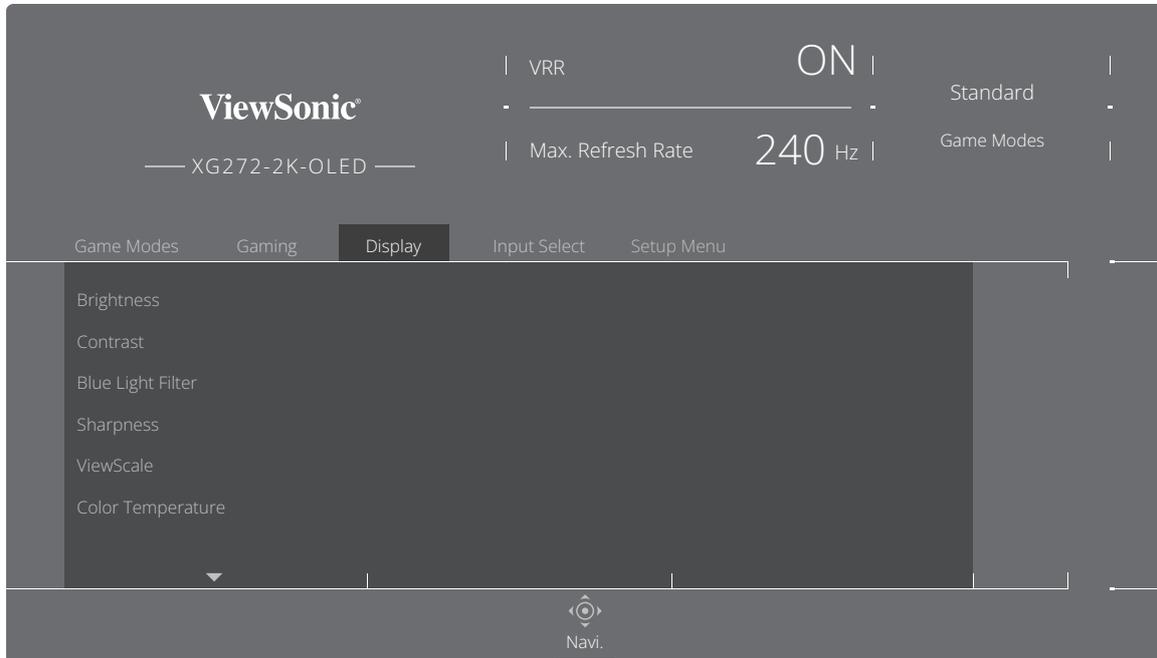
3. ジョイキー (↑) または (↓) を動かして、設定を選択します。次に、ジョイキー (✓) を押して、選択を確定します。

メニューオプション	詳細
Variable Refresh Rate (VRR) (可変リフレッシュレート (VRR))	画面のスタッターやティアリングを解消します。
BFI	ブラックフレーム挿入 (BFI) をオンにすると、画面上で早く動くオブジェクトの背後に現れるしつこいぼやけが軽減されます。
BFI Minimum Hz (BFI最小Hz)	BFIの最小リフレッシュレートを設定します。
BFI Strength (BFI強度)	BFIの強度を設定し、ブラックフレームの長さを調整します。

メニューオプション	詳細								
HDR	<p>特定のシーンの全体的なコントラストを下げて、ハイライト部分とシャドウ部分の詳細を確認できるようにします。</p> <table border="1" data-bbox="523 349 1445 663"> <thead> <tr> <th data-bbox="523 349 823 409">オプション</th> <th data-bbox="823 349 1445 409">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="523 409 823 551">DisplayHDR</td> <td data-bbox="823 409 1445 551">AMD FreeSync Premium Pro認定およびVESA DisplayHDR 1400認定に合格しています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 551 823 607">CinematicHDR</td> <td data-bbox="823 551 1445 607">映画鑑賞に理想的なHDR設定です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 607 823 663">GameplayHDR</td> <td data-bbox="823 607 1445 663">ゲームに理想的なHDR設定です。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注意事項：</p> <ul data-bbox="624 745 1445 1137" style="list-style-type: none"> • DisplayHDRが有効になっている場合、輝度を調整することはできません。輝度はHDRコンテンツによって異なります。 • 輝度はCinematicHDRおよびGameplayHDRで調整することができます。 • HDRを使用する場合は、Windows HDRがオンになっていること、コンテンツがHDRをサポートしていることを確認してください。 	オプション	詳細	DisplayHDR	AMD FreeSync Premium Pro認定およびVESA DisplayHDR 1400認定に合格しています。	CinematicHDR	映画鑑賞に理想的なHDR設定です。	GameplayHDR	ゲームに理想的なHDR設定です。
オプション	詳細								
DisplayHDR	AMD FreeSync Premium Pro認定およびVESA DisplayHDR 1400認定に合格しています。								
CinematicHDR	映画鑑賞に理想的なHDR設定です。								
GameplayHDR	ゲームに理想的なHDR設定です。								
Crosshair (十字線)	画面上のオーバーレイを使用して、FPS ゲーム中により明確かつ迅速に狙えるようにします。詳細については、54 ページを参照してください。								
Gaming RGB (ゲーミングRGB)	モニターのRGB照明を制御します。電源投入時、またはリセット時には、デフォルトのBreathing (ブレス) モードが有効になります。								

Display (ディスプレイ)

1. ジョイキー (↑) / (↓) / (←) / (→) を押すか (✓) と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー (←) または (→) を動かして、**Display (ディスプレイ)** を選択します。次に、ジョイキー (✓) を動かして、**Display (ディスプレイ)** メニューに入ります。



3. ジョイキー (↑) または (↓) を動かして、メニューオプションを選択します。次に、ジョイキー (→) を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー (↑) または (↓) を動かして、設定を調整 / 選択します。次に、ジョイキー (✓) を押して、確定します (該当する場合)。

注意事項：一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、ジョイキー (→) を動かします。

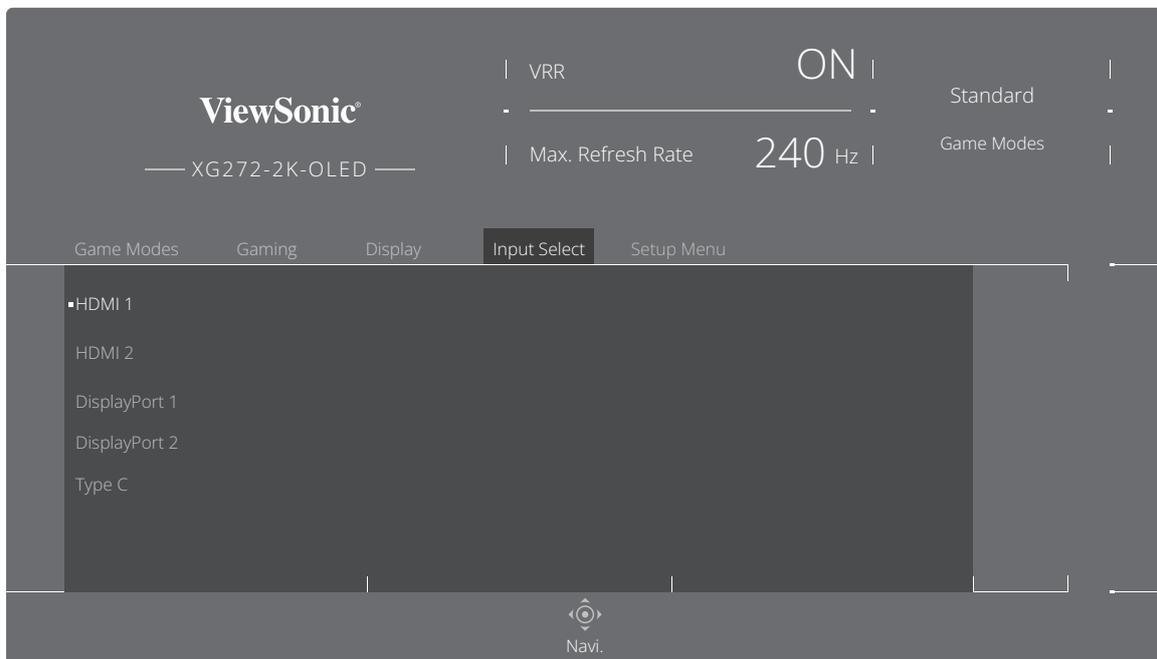
メニューオプション	詳細
Brightness (輝度)	画面背景の黒レベルを調整します。
Contrast (コントラスト)	写真の明るさを、最大レベルと最小レベルの間で調整し、画像の黒と白の量を変更します。
Blue Light Filter (ブルーライト低減)	刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。
Sharpness (シャープネス)	ディスプレイの写真の鮮明度と品質を調整します。
ViewScale	モニター上の画像の表示サイズを調整して

メニューオプション	詳細														
Color Temperature (色温度)	色温度を選択し設定することができます。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="507 264 810 324">オプション</th> <th data-bbox="810 264 1425 324">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="507 324 810 376">sRGB</td> <td data-bbox="810 324 1425 376">sRGB標準の正確な色域とガンマ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 376 810 477">Bluish (青色の濃さ)</td> <td data-bbox="810 376 1425 477">色温度を9300Kに設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 477 810 533">Cool (寒色)</td> <td data-bbox="810 477 1425 533">色温度を7,500Kに設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 533 810 633">Native (標準)</td> <td data-bbox="810 533 1425 633">デフォルトの色温度です。通常の使用に推奨されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 633 810 689">Warm (暖色)</td> <td data-bbox="810 633 1425 689">色温度を5,000Kに設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 689 810 842">Full Color Control (フルカラー コントロール)</td> <td data-bbox="810 689 1425 842">RGBの値をお好みに設定できます。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	sRGB	sRGB標準の正確な色域とガンマ。	Bluish (青色の濃さ)	色温度を9300Kに設定します。	Cool (寒色)	色温度を7,500Kに設定します。	Native (標準)	デフォルトの色温度です。通常の使用に推奨されます。	Warm (暖色)	色温度を5,000Kに設定します。	Full Color Control (フルカラー コントロール)	RGBの値をお好みに設定できます。
	オプション	詳細													
	sRGB	sRGB標準の正確な色域とガンマ。													
	Bluish (青色の濃さ)	色温度を9300Kに設定します。													
	Cool (寒色)	色温度を7,500Kに設定します。													
	Native (標準)	デフォルトの色温度です。通常の使用に推奨されます。													
Warm (暖色)	色温度を5,000Kに設定します。														
Full Color Control (フルカラー コントロール)	RGBの値をお好みに設定できます。														

メニューオプション	詳細								
Color Adjust (カラー調整)	<p><u>Color Space (色空間)</u> カラー出力に使用する色空間を選択します。</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="509 320 778 376">オプション</th> <th data-bbox="778 320 1423 376">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="509 376 778 472">Auto (自動)</td> <td data-bbox="778 376 1423 472">入力信号の色空間を自動的に識別します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 472 778 568">RGB Mode (RGBモード)</td> <td data-bbox="778 472 1423 568">入力信号のカラーフォーマットをRGBに設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 568 778 665">YUV Mode (YUVモード)</td> <td data-bbox="778 568 1423 665">入力信号のカラーをYUVに設定します。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	Auto (自動)	入力信号の色空間を自動的に識別します。	RGB Mode (RGBモード)	入力信号のカラーフォーマットをRGBに設定します。	YUV Mode (YUVモード)	入力信号のカラーをYUVに設定します。
	オプション	詳細							
	Auto (自動)	入力信号の色空間を自動的に識別します。							
	RGB Mode (RGBモード)	入力信号のカラーフォーマットをRGBに設定します。							
YUV Mode (YUVモード)	入力信号のカラーをYUVに設定します。								
<p><u>Color Range (色範囲)</u> ディスプレイは、自動で色域の入力信号を検知することができます。表示されている色が間違っている場合は、色域オプションを変更して正しい色に合わせることができます。</p>									
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="509 963 778 1019">オプション</th> <th data-bbox="778 963 1423 1019">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="509 1019 778 1122">自動</td> <td data-bbox="778 1019 1423 1122">自動的にカラーフォーマット、白黒レベルを検知します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1122 778 1218">最大色域</td> <td data-bbox="778 1122 1423 1218">白黒レベルを最大値に設定します (0~255)。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1218 778 1317">色域制限</td> <td data-bbox="778 1218 1423 1317">白黒レベルを制限します (16~235)。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	自動	自動的にカラーフォーマット、白黒レベルを検知します。	最大色域	白黒レベルを最大値に設定します (0~255)。	色域制限	白黒レベルを制限します (16~235)。	
オプション	詳細								
自動	自動的にカラーフォーマット、白黒レベルを検知します。								
最大色域	白黒レベルを最大値に設定します (0~255)。								
色域制限	白黒レベルを制限します (16~235)。								
<p><u>Color Saturation (彩度)</u> それぞれの色 (赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄色) の深度を調整します。</p>									
<p><u>Black Stabilization</u> ViewSonicのBlack stabilizationは、高い視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。</p>									

Input Select (入力選択)

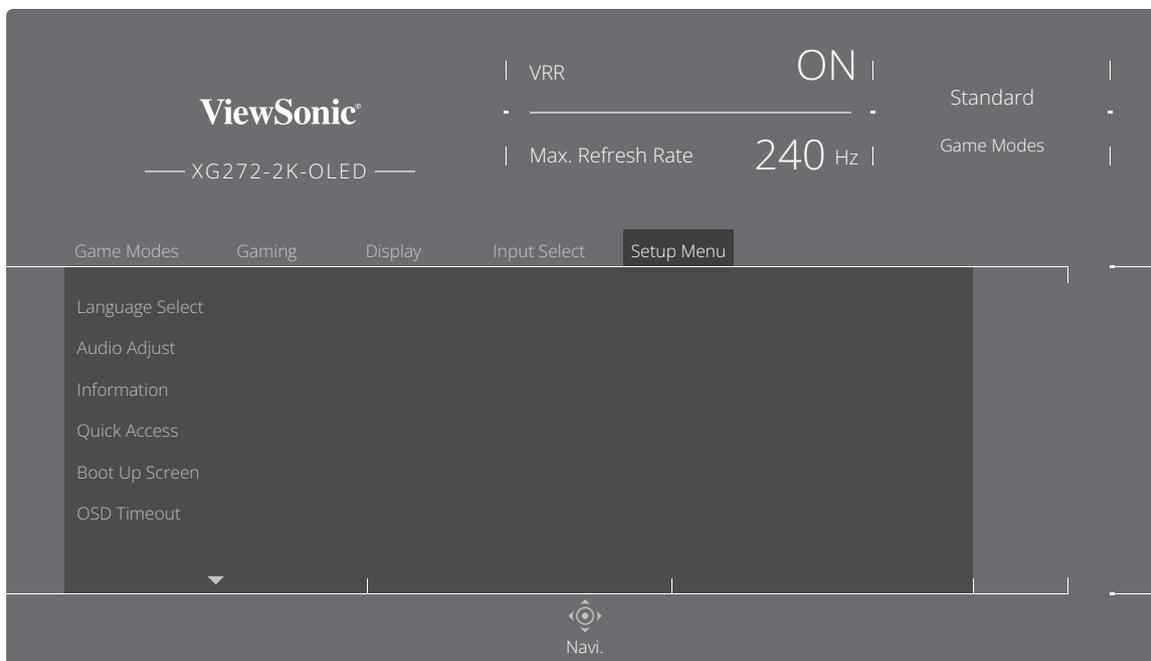
1. ジョイキー (↑) / (↓) / (←) / (→) を押すか (✓) と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー (←) または (→) を動かして、Input Select (入力選択) を選択します。次に、ジョイキー (✓) を動かして、Input Select (入力選択) メニューに入ります。



3. ジョイキー (↑) または (↓) を動かして、希望の入力ソースを選択します。次に、ジョイキー (✓) を押して、選択を確定します。

Setup Menu (設定メニュー)

1. ジョイキー / / / を押すか と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー または を動かして、Setup (設定) メニューを選択します。次に、ジョイキー を動かして、Setup (設定) メニューメニューに入ります。



3. ジョイキー または を動かして、メニューオプションを選択します。次に、ジョイキー を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー または を動かして、設定を調整 / 選択します。次に、ジョイキー を押して、確定します (該当する場合)。

注意事項：一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、ジョイキー を動かします。

メニューオプション	詳細
Language Select (言語選択)	OSD メニューで使用可能な言語を選択します。
Audio Adjust (音声調整)	音量レベルを調整します。
Information (インフォメーション)	ディスプレイ情報を表示します。
Quick Access (クイックアクセス)	クイックアクセスメニューに表示するオプションを選択します。

メニューオプション	詳細
Boot Up Screen (起動画面)	スタート画面をオンまたはオフに切り替えます。
OSD Timeout (OSD 表示時間)	OSD メニューを画面に表示しておく時間を調整します。
OSD Background (OSD 背景)	OSD メニューが画面に表示された時の、OSD 背景の表示 / 非表示を設定します。
OSD Pivot (OSD 回転)	OSD メニューの回転値を設定します。
Power Indicator (電源インジケータ)	電源インジケータのオンまたはオフを設定します。オンに設定している場合は、電源が入っている時に表示ランプが青く点灯します。
Auto Power Off (自動電源オフ)	このオプションを有効にすると、一定の時間が経つと自動で電源をオフにすることができます。
Sleep (スリープ)	ディスプレイが「スリープモード」に入るまでの待機時間を設定します。
ECO Mode (エコモード)	消費電力に基づいて、様々なモードの中からユーザーが選択することができます。 注意事項： デフォルトでは、省エネモードがオンになっています。オフにすると、輝度レベルを最大レベルに調節することができます。
DDC/CI	このオプションを有効にすると、グラフィックカードからディスプレイをコントロールできるようになります。
HDMI 2.0	HDMI 2.0サポートを有効にします。 注意事項： <ul style="list-style-type: none"> • モニターにHDMI 2.1ポート経由の信号が表示されない場合。HDMI 2.0をオンにしてください。高いリフレッシュレートでWQHDを有効にするには、より高品質のグラフィックカードが必要になります。HDMI 2.1のサポートに関する追加情報については、グラフィックスカードのメーカーにお問い合わせください。 • HDMI 2.0は、最大2560 x 1440@100Hzをサポートします。

メニューオプション	詳細
DisplayPort 1.2	DisplayPort 1.2対応の有効を設定します。 注意事項： <ul style="list-style-type: none"> • モニターにDisplayPort (v. 1.4)ポート経由の信号が表示されない場合。DisplayPort 1.2をオンにしてください。高いリフレッシュレートでWQHDを有効にするには、より高品質のグラフィックカードが必要になります。DisplayPort v. 1.4のサポートに関する追加情報については、グラフィックスカードのメーカーにお問い合わせください。
Standby Charger (スタンバイ充電器)	有効にすると、モニターがスタンバイモードになっていても、USB は電力を供給し続けます。
Memory Recall (メモリーリセット)	すべての設定をデフォルト値にリセットします。

拡張機能と設定

Variable Refresh Rate (VRR)

Enabling FreeSync™ Premium Proを有効にすると、ゲームプレイが不安定になったり、中断したりすることがなくなります。また、ほぼすべてのフレームレートで、滑らかで、アーティファクトのないパフォーマンスが実現されます。

FreeSync™ Premium Pro機能を有効にするには：

1. ジョイキー / / / を押すか と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー または を動かして、**Display (ディスプレイ)** を選択します。次に、ジョイキー を動かして、**Display (ディスプレイ)** に入ります。
3. ジョイキー または を動かして、**FreeSync™ Premium Pro** を選択します。次に、ジョイキー を動かして、選択を確定します。
4. ジョイキー または を動かして、**On (オン)**、**Off (オフ)** を選択します。次に、ジョイキー を押して、選択を確定します。

注意事項：有効にすると、DisplayHDR が自動的にオンになります。

HDR (ハイダイナミックレンジ)

強調と影のコントラストの詳細が見えるように、特定のシーンの全体的なコントラストを減らします。

注意事項： モニターで HDR を有効にする前に、まずデバイスで HDR 設定がオンになっていることを確認してください。

モード	詳細
DisplayHDR	AMD FreeSync Premium Pro認定およびVESA DisplayHDR 1400認定に合格しています。
CinematicHDR	映画鑑賞に理想的なHDR設定です。
GameplayHDR	ゲームに理想的なHDR設定です。

モニターでHDR機能を有効にするには：

1. ジョイキー / / / を押すか と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー または を動かして、**Display (ディスプレイ)** を選択します。次に、ジョイキー を動かして、**Display (ディスプレイ)** に入ります。
3. ジョイキー または を動かして、**HDR (ハイダイナミックレンジ)** を選択します。次に、ジョイキー を動かして、サブメニューに入ります。
4. ジョイキー または を動かして、希望の設定を選択します。次に、ジョイキー を押して、選択を確定します。

WindowsでHDRを有効にするには：

1. デスクトップを右クリックしてから、**表示設定**を左クリックします。
2. XG272-2K-OLEDディスプレイを選択し、適切な**解像度**を選択します。
3. **HDR**をオンに切り替えます。

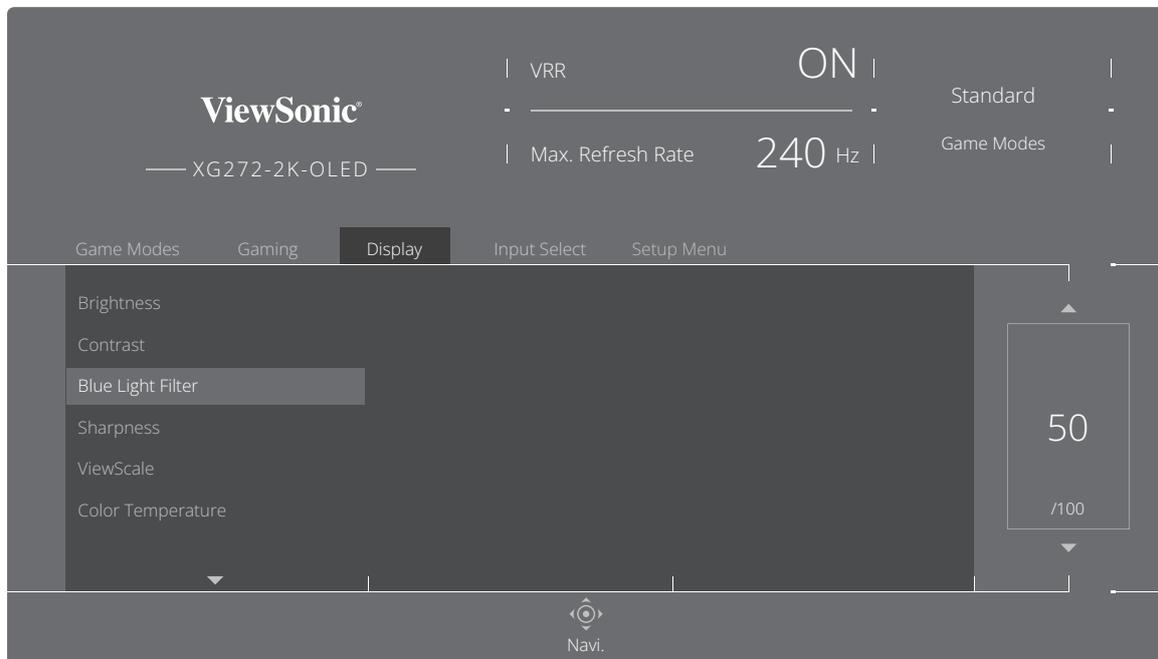
注意事項：

- 画面がわずかに暗くなる場合があります。これは、HDRがアクティブになっていることを示しています。
- 自動アクティベーション機能が不要な場合は、HDR機能の「**オフ**」を選択してください。

ブルーライト低減および目の健康

ブルーライト低減は高エネルギーのブルーライトを遮断し、より快適な視聴体験を実現します。

ブルーライト低減の有効化と無効化は、**Display (表示)** メニューを介してその場で実行できます。



モニターを使用して楽しむときは、次の点に注意してください。

- コンピュータ画面を長時間見続けると、目の炎症や不快感を引き起こすことがあります。これらの影響を軽減するには、目を弛緩させるために定期的に目を画面から離すことをお勧めします。
- ブルーライトフィルターの値は、**Display (表示)** メニューから調整できます。

休憩の計算

モニターを長時間見ているときは、定期的に休憩することをお勧めします。1～2時間連続して視聴した後、少なくとも5分の短い休憩をお勧めします。

より短い、より頻繁な休憩を取ることは、頻度の少ない長い休憩よりも一般的に有益です。

Focus Fatigue (20-20-20 Rule)

To reduce the risk of eye fatigue by constantly looking at the screen, look away from the screen at least every 20 minutes and gaze at a distant object (at least 20 feet away) for at least 20 seconds.

遠くの物を見る

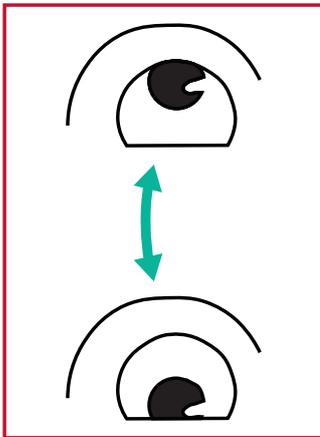
休憩中は、離れた場所に集中することで、目の疲れや乾燥をさらに軽減できます。

目と首の運動

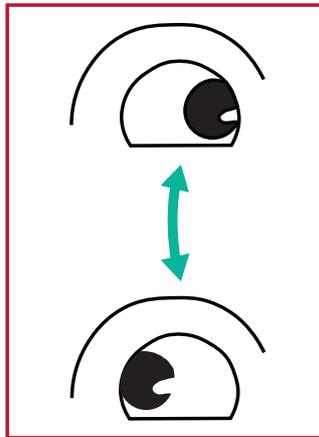
目の運動

目の運動は目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。ゆっくりと目を左、右、上、下に回転させます。必要な回数だけ繰り返します。

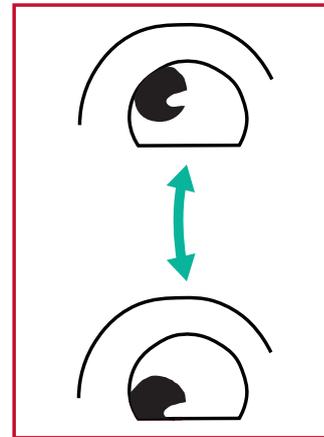
Exercises for the eyes



(1) Keep the body and the head upright. Move the eyes up to look at the ceiling, then turn down to look at the floor.



(2) Move the eyes left and right slowly to look at objects on the two sides.



(3) Move the eyes to look at objects at the right upper direction and then right lower direction. Repeat for the left upper and left lower directions.

首の運動

首の運動も目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。腕をリラックスして脇にぶら下げ、少し前に曲げて首を伸ばし、頭を右および左に向けます。必要な回数だけ繰り返します。

ViewScale

ViewScaleで、特定の使用シナリオに合わせて現在のアスペクト比を調整できます。

注意事項： ネイティブではない ViewScale アスペクトモードを選択すると、ユーザーエクスペリエンスに影響を与える可能性があります。

ViewScaleを有効にするには：

1. **ジョイキー** (↑) / (↓) / (←) / (→) を押すか (✓) と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. **ジョイキー** (←) または (→) を動かして、**Display (ディスプレイ)** を選択します。次に、**ジョイキー** (↓) を動かして、**Display (ディスプレイ)** に入ります。
3. **ジョイキー** (↑) または (↓) を動かして、**ViewScale** を選択します。次に、**ジョイキー** (→) を動かして、サブメニューに入ります。
4. **ジョイキー** (↑) または (↓) を動かして、希望のアスペクト比を選択します。次に、**ジョイキー** (✓) を押して、選択を確定します。

アスペクト比	詳細
フル	入力された画像を画面全体に拡大縮小します。これはデフォルトの入力選択であり、16:9の画像に最適です。
アスペクト	入力された画像を歪みなく、可能な限り画面全体に表示します。
1:1	画像は拡大縮小せずに直接表示されます。
19" (4:3)	入力された画像を4:3のアスペクト比と19インチの表示サイズでシミュレートします。
19"W (16:10)	入力された画像を16:10のアスペクト比と19"Wの表示サイズでシミュレートします。
21.5" (16:9)	入力された画像を16:9のアスペクト比と21.5インチの表示サイズでシミュレートします。
22"W (16:10)	入力された画像を16:10のアスペクト比と22"Wの表示サイズでシミュレートします。
23.6"W (16:9)	入力された画像を16:9のアスペクト比と23.6"Wの表示サイズでシミュレートします。
24"W (16:9)	入力された画像を16:9のアスペクト比と24"Wの表示サイズでシミュレートします。

Quick Access (クイックアクセス)

クイックアクセスキーとメニューを使用して、各種機能とモードをすばやく開始します。OSDの**セットアップメニュー**を介して、クイックアクセスメニューで、希望の機能またはモードを定義することもできます。機能/モードは、ライトバーがアイテム上を移動するとすぐに有効になり、ライトバーを削除すると無効になります。

クイックアクセスメニューで「戻る」とは、クイックアクセスメニューに入る前に選択したモードに「自動的に」戻ることを意味します。

たとえば、クイックアクセスメニューに入る前に「コンソールスピード」モードを選択し、クイックアクセスメニューに既存のFPSオプションがある場合、クイックアクセスの定義に従い、ライトバーがアイテム上を移動するとき、FPSモードが有効になります。次に、ライトバーを「戻る」に移動すると、モードは自動的に「コンソールスピード」に変更されます。これは、クイックアクセスメニューに入る前のモードと同じです。

クイックアクセスメニューを有効にするには：

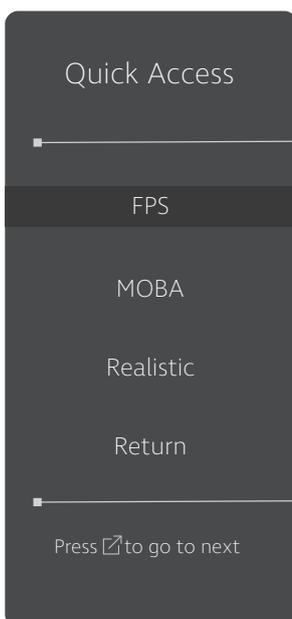
1. **Quick Access Menu (クイックアクセスメニュー)** キーを押して、Quick Access (クイックアクセス) メニューを開きます。
2. **ジョイキー** または を動かして、希望のアイテムを選択します。

注意事項：有効になった後、クイックアクセスメニューは 3 秒後に消えます。

クイックアクセスメニューオプションを変更するには：

1. **ジョイキー** / / / を押すか と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. **ジョイキー** または を動かして、**Setup Menu (設定メニュー)** を選択します。次に、**ジョイキー** を動かして、**Setup Menu (設定メニュー)** メニューに入ります。
3. **ジョイキー** または を動かして、**Quick Access (クイックアクセス)** を選択します。次に、**ジョイキー** を動かして、サブメニューに入ります。
4. **ジョイキー** または を動かして、お好みを選択します。次に、**ジョイキー** を押して、選択を確定します。

注意事項：一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、**ジョイキー** を動かします。



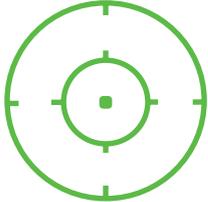
Crosshair (十字線)

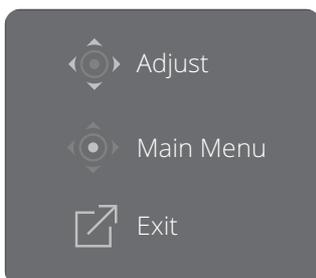
画面にオーバーレイするさまざまな十字線のスタイルと色から選択します。

十字線機能をオンにする方法:

1. ジョイキー / / / を押すか と動かして、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
2. ジョイキー または を動かして、**Setup Menu (設定メニュー)** を選択します。次に、ジョイキー を動かして、**Setup Menu (設定メニュー)** に入ります。
3. ジョイキー または を動かして、**Crosshair (十字線)** を選択します。次に、ジョイキー を動かして、選択を確定します。
4. ジョイキー または を動かして、希望の十字線のスタイルと色を選択します。次に、ジョイキー を押して、選択を確定します。

注意事項: 確認前に、OSD メニューの右側に十字線のプレビュー画像 (タイプと色) が表示されます。

Crosshair (十字線)	詳細
Type A (タイプ A)	
Type B (タイプ B)	
Type C (タイプ C)	



注意事項: このメッセージボックスは十字線とともに表示され、3 秒後に自動的に消えます。

付録

仕様

項目	区分	仕様
LCD	タイプ	OLED、アクティブマトリックス 2560 x 1440 LCD、 0.2292 mm x 0.2292 mm ピクセル ピッチ
	画面サイズ	67.3 cm (27 インチ視界)
	カラーフィルタ	RGB 垂直ストライプ
	表面素材	防眩タイプ (Haze 25%)、ハードコート加工 (3H)
入力信号	ビデオシンク	<u>TMDS digital (100 Ω)</u> DisplayPort (v. 1.4): f_h :15~255 kHz, f_v :48~240 Hz HDMI (v. 2.1): f_h :30~160 kHz, f_v :30~240 Hz Type C: f_h :15~255 kHz, f_v :48~240 Hz
互換性	PC	2560 x 1440 ピクセル以下
	Macintosh	2560 x 1440 ピクセル以下

項目	区分	仕様
解像度 ¹	推奨周波数	2560 x 1440 @ 240Hz
	対応	2560 x 1440 @ 60, 100, 120, 144, 165, 200, 240Hz 2560 x 1080 @ 24, 25, 30, 50, 60Hz 2048 x 1152 @ 60Hz 1920 x 1440 @ 51, 60, 75Hz 1920 x 1200 @ 60, 75Hz 1920 x 1080 @ 24, 25, 30, 50, 60Hz 1680 x 1050 @ 60Hz 1600 x 1200 @ 60Hz 1600 x 900 @ 60Hz 1440 x 900 @ 60, 75Hz 1440 x 576 @ 50Hz 1400 x 1050 @ 60, 75Hz 1366 x 768 @ 60Hz 1360 x 768 @ 60Hz 1280 x 1024 @ 50, 60, 75Hz 1280 x 960 @ 50, 60, 75Hz 1280 x 800 @ 60, 75Hz 1280 x 768 @ 50, 60, 75Hz 1280 x 720 @ 50, 60Hz 1152 x 900 @ 66Hz 1152 x 870 @ 75Hz 1152 x 864 @ 60, 75Hz 1024 x 768 @ 50, 60, 70, 72, 75Hz 1024 x 600 @ 60Hz 848 x 480 @ 60Hz 832 x 624 @ 75Hz 800 x 600 @ 56, 60, 72, 75Hz 720 x 576 @ 50Hz 720 x 480 @ 60Hz 720 x 400 @ 70Hz 640 x 480 @ 50, 60, 66, 72, 75Hz 640 x 400 @ 60, 70Hz 640 x 350 @ 70Hz
電源アダプタ ²	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)
表示領域	全領域 (H × V)	604.42 x 350.62 mm
		23.80" x 13.80"
動作環境	気温	0° C ~ 40° C (32° F ~ 104° F)
	湿度	20% ~ 90% (非結露)
	高度	5 km (16,404 フィート)

1- グラフィックカードをご使用の際は、仕様表の値を超える数値を設定するとディスプレイの故障につながる恐れがあるためご注意ください。

2- ViewSonic®製または認定されたメーカー製の電源アダプタ/電源コードのみをご使用してください。

項目	区分	仕様
保管環境	気温	-20° C ~ 60° C (-4° F ~ 140° F)
	湿度	5% ~ 90% (非結露)
	高度	12 km (39,370 フィート)
寸法 (スタンドあり)	寸法 (W x H x D)	604.4 x 566.6 x 221.8 mm
		23.8" x 23.3" x 8.7"
寸法 (スタンドなし)	寸法 (W x H x D)	604.4 x 374.9 x 62.2 mm
		23.8" x 14.6" x 2.4"
VESA マウント	寸法	100 x 100 mm
重量 (スタンドあり)	寸法	6.95 kg
		15.32 ポンド
重量 (スタンドなし)	寸法	4.8 kg
		10.58 ポンド
省電力モード	オン ³	42W (標準) 音声なし 44W (標準) 50% の音声あり
	Off (オフ)	≤ 0.3W (最大)

3- 試験条件はEEM標準に従ったものです。

用語説明

本章では、全ての LCD ディスプレイモデルで使用される用語について説明します。全ての用語は、アルファベット順に記載しております。

注意事項：お使いのモニターに該当しない条項もあります。

A **Advanced DCR (アドバンス DCR)**

アドバンスド DCR 技術は、自動で画面信号を検出し、スマートにバックライトの明るさと色合いをコントロールします。暗いシーンでは黒をより黒くし、明るいシーンでは白をより白くするよう調整します。

Audio Adjust (音声調整)

音量調整やミュート設定を行うことができます。また、入力元が 2 つ以上ある場合は、入力を切り替えることができます。

Auto Detect (自動検出)

現在の入力元からの信号がない場合、ディスプレイが自動で他の入力オプションに切り替わるように設定します。一部のモデルでは、この機能はデフォルトで無効になっています。

B **Black Stabilization**

ViewSonic の Black Stabilization は、高い視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。

Black Frame Insertion (BFI) (ブラックフレーム挿入 (BFI))

BFI 機能は、すべてのディスプレイで使用されるサンプル & ホールド方式によって引き起こされる持続的なぼやけを軽減することを目的としたものです。このぼやけは、高速で動くオブジェクトの背後に跡が表示されることで発生します。

Blue Light Filter (ブルーライト低減)

刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。

Boot Up Screen (起動画面)

起動画面をオフにすると、モニターの電源を入れたときに画面に表示されるメッセージが表示されなくなります。

Brightness (輝度)

バックライトの輝度を調整します。

C

Color Adjust (カラー調整)

ユーザーのニーズに合わせて色設定を調節できるように、複数の色調整モードが提供されています。

Color Range (色範囲)

ディスプレイは、自動で色域の入力信号を検知することができます。表示されている色が間違っている場合は、色域オプションを変更して正しい色に合わせることができます。

オプション	詳細
Auto (自動)	ディスプレイが自動的にカラーフォーマットと白黒レベルを検出します。
Full Range (全範囲)	白黒レベルを最大値に設定します。
Limited Range (限定範囲)	白黒レベルは制限されています。

Color Space (色空間)

色空間を RGB または YUV から選択し、ディスプレイからの色出力を変更することができます。

Color Temperature (色温度)

特定の色温度を選択し、更にカスタマイズした視聴設定をすることができます。

パネルのデフォルト	初期値
sRGB	Windows システムに使用される標準の色空間
Bluish (青色の濃さ)	色温度を 9,300K に設定します。
Cool (寒色)	色温度を 7,500K に設定します。
Native (標準)	デフォルトの色温度です。一般的な使用に推奨されます。
Warm (暖色)	色温度を 5,000K に設定します。

Contrast (コントラスト)

画面の明暗を調整することができます。

Crosshair (十字線)

画面にオーバーレイするさまざまな十字線のスタイルと色から選択します。

- F FreeSync™ Premium Pro**
AMD FreeSync 技術により、ゲームプレイが不安定になったり、中断したりすることがなくなります。また、ほぼすべてのフレームレートで、滑らかで、アーティファクトのないパフォーマンスが実現されます。
- G Game Mode (ゲームモード)**
事前に較正済みの FPS、RTS、MOBA ゲーム設定など、ゲームに特化した OSD デザインを備えています。各モードは、色と技術を最良の状態に融合させるゲーム内テストや調整を利用して、機能的にカスタマイズされています。
- Gamma (ガンマ調整)**
モニターのグレイスケールレベルの輝度レベルを手動で調整できます。6つのレベルを選択できます：1.8、2.0、2.2、2.4、2.6 および 2.8。
- H Hertz Limiter (Hz 上限設定)**
モニターから出力されるフレーム数をユーザーが制御できます。モニターは、モニターからレンダリングできる最大フレーム数に上限を設定して、電力を節約し、モニター側から負荷をかけます。
- Hue (色相)**
それぞれの色の色調を調節します (赤、緑、青、藍色、深紅色、黄色)。
- I Information (インフォメーション)**
コンピュータのグラフィックカードから送られる入力信号、LCD モデル番号、シリアル番号、ViewSonic® ウェブサイト URL を表示します。グラフィックカードの解像度とリフレッシュレートを変更したい場合は、グラフィックカードのユーザーガイドを参照してください。
- 注意事項：**例えば、VESA 1024 x 768 @ 60Hz は、解像度が 1024 x 768 で、リフレッシュレートが 60Hz であることを意味します。
- Input Select (入力選択)**
ご使用のディスプレイで利用可能な各種入力オプションを切り替えます。
- L Low Input Lag (低入力遅延)**
ViewSonic® では、モニター処理減力を活用して信号遅延を軽減する低入力遅延を選択できます。「低入力遅延」サブメニューでは、オプションの中から使用目的に合う適切な速度を選択できます。

M Manual Image Adjust (マニュアル画像調整)
マニュアル画像調整メニューを表示すると、様々な画面調整を行うことができます。

Memory Recall (メモリーリセット)

ディスプレイが本マニュアルの「仕様」に記載されている工場出荷時のプリセットタイミングモードで動作している場合、工場出荷時の設定に調整を戻します。

注意事項： (例外) この操作が「言語選択」または「電源ロック設定」で実行された変更に影響を与えることはありません。

O Offset (オフセット)

赤、緑、青の黒レベルを調整します。ゲインとオフセット機能により、コントラストや暗いシーンを操作する際に、ユーザーが最前面のコントロールのホワイトバランスを制御できます。

OSD Pivot (OSD 回転)

ディスプレイの OSD メニューの表示方向を設定します。

Overscan (オーバースキャン)

このオプションを有効にすると、アスペクト比を変更せずに画面サイズに合わせて画面を引き延ばします。

P Power Indicator (電源インジケータ)

モニターの電源がオンかオフかを示すライトです。また、この設定はスタンドの照明を制御します。「Power Indicator (電源インジケータ)」の下で、照明効果をオフに切り替えることができます。さらに、電源インジケータは、画面が受信した入力色信号を直接解釈した平均色を表示します。

Q Quick Access (クイックアクセス)

クイックアクセスキーとメニューを使用して、いくつかの機能とモードをすばやく開始します。ユーザーは、OSD の **Setup Menu (設定メニュー)** を介して、クイックアクセスメニューで希望する機能またはモードを定義することもできます。機能 / モードは、ライトバーがアイテム上を移動するとすぐに有効になり、ライトバーを削除すると無効になります。

R

Recall (リセット)

ディスプレイの View Mode 設定をリセットします。

Resolution Notice (解像度のお知らせ)

視聴解像度が正しくない場合にユーザーにお知らせします。解像度設定時に、設定内に通知が表示されます。

Response Time OD (応答速度 OD)

モニターの応答速度を調整したいユーザーのための高度な調整機能です。5つの異なるレベルを選択し、より正確に必要な応じて速くなるように応答速度を調整しながら、それぞれの独自のゲームシナリオに基づいて、ぼやけやゴーストを減らすことができます。

RGB Lighting (RGB 照明)

この設定ではモニターの裏側とベゼルの下にある RGB 照明を操作します。RGB 照明の色とスタイルの両方を調整できます。

S

Setup Menu (設定メニュー)

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの設定を調整します。ほとんどの設定を、オンスクリーンディスプレイ通知で有効にすることができますので、ユーザーが再度メニューを開く必要がありません。

Sharpness (シャープネス)

ディスプレイの写真の鮮明度と品質を調整します。

V

ViewMode (View モード)

ViewSonic 独自の ViewMode 機能には、あらかじめ「Game (ゲーム)」、「Movie (映画)」、「Web (ウェブ)」、「Text (テキスト)」、「MAC」、「Mono (モノクロ)」がプリセットされています。これらのプリセットは、様々な画面の用途に合わせて最適な状態で視聴いただけるように、特別に設計されています。

ViewScale

モニター上の画像の表示サイズを調整して、「最適な」シナリオを実現することができます。

トラブルシューティング

本章では、ディスプレイをご使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電源 ボタンを押して、モニターをオンにしているかご確認ください。● 電源コードがモニターと電源コンセントにしっかりと接続されているかご確認ください。● 別の電気装置をコンセントに差し込み、コンセントが電力を供給していることを確認してください。
電源が入っているが、画面何も表示されない	<ul style="list-style-type: none">● モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。● 明るさとコントラストの設定を調整してください。● 正しい入力源が選択されているかご確認ください。
色が違う、又はおかしい	<ul style="list-style-type: none">● いずれかの色(赤、緑、青)が欠けている場合は、ビデオケーブルがしっかりと接続されているかご確認ください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性あります。● ディスプレイを他のコンピュータに接続してご確認ください。
画像が明るすぎる、又は暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">● OSD メニューから輝度とコントラスト設定を調節してください。● モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面がちらつく、点滅する	<ul style="list-style-type: none">● 正しい入力源が選択されているかご確認ください。● ビデオケーブルのコネクタに、曲がったピンや壊れたピンがないかご確認ください。● モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none">● 解像度を正しいアスペクト比に調整してください。● モニターを工場出荷時の設定にリセットします。

問題	解決策
画面が正しく中央に配置されていない	<ul style="list-style-type: none"> • OSD メニューから水平および垂直コントロールを調整してください。 • アスペクト比をご確認ください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面が黄色い	<ul style="list-style-type: none"> • ブルーライト低減がオフになっている事をご確認ください。
OSD メニューが画面に表示されない / OSD コントロールにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • OSD メニューがロックされていないかご確認ください。 • ディスプレイの電源を切り、電源コードを抜いて挿し直してください。その後、ディスプレイの電源を再度入れてください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
コントロールパネルキーが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 一度に押すキーは一つだけにしてください。 • コンピュータを再起動してください。
OSD メニューに選択できない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> • ViewMode または入力ソースを調整します。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
音が出ない、又は音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> • イヤホン / ヘッドホンを使用する場合は、ミニステレオジャックが接続されていることをご確認ください。 • 音量がミュートされていたり、0 に設定されていないかご確認ください。 • オーディオ入力設定が正しく設定されているかご確認ください。
ディスプレイが調整できない	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの周囲に障害物がないことを確認の上、十分なスペースを確保してください。 • 詳細については、「視聴角度の調整」を参照してください。
USB デバイスをディスプレイに接続しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • USB ケーブルがディスプレイと USB デバイスにしっかりと接続されているかご確認ください。 • 別の USB ポートに変えてみてください(該当する場合)。 • USB デバイスの中には使用電力が高いものがございます。その場合は USB デバイスをコンピュータへ接続して動作をご確認ください。

問題	解決策
外付けデバイスを接続しても、画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイの電源が入っていることをご確認ください。• OSDメニューから輝度とコントラストを調節してください。• 接続ケーブルを確認し、適切かつしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性あります。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- ディスプレイのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- ディスプレイは十分注意してお取扱ってください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic® は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、ディスプレイの画面および / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

欧州諸国のCE適合



本装置は、EMC指令2014/30/EUおよび低電圧指令2014/35/EUに準拠しています。

次の情報は、EU加盟国のみ適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。



RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU (電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2指令)) に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2 - エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています：

- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。
- 定格電圧が 125 VAC または 250 VDC 以上のコンデンサの誘電体セラミック中の鉛。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic®は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、ViewSonic®のWebサイトをご覧ください。

米国およびカナダ:

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

欧州:

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

台湾:

<https://recycle.epa.gov.tw/>

電池に関する注意事項

安全上のご注意

電池の液漏れ、過熱、発火を防ぐため、以下の注意事項に従ってください。

- 電池を水や海水に浸さないでください。
- 電池を火やヒーターなどの熱源の近くで使用したり放置したりしないでください。
- プラス端子とマイナス端子を逆にしないでください。
- 電池を火やその他の熱源の中に捨てないでください。
- 電池のプラス端子とマイナス端子を、針金などの金属物に直接接触させるなどして、ショートさせないでください。
- 電池を極端に高温になる場所（直射日光や車内など）で使用したり放置したりしないでください。電池が発熱して発火したり、性能が低下して寿命が短くなることがあります。
- 電池が液漏れして電解液が目に入った場合は、目をこすらないでください。すぐにきれいな流水で目を洗い、医師の診察を受けてください。目を傷つける恐れがあります。
- 使用中、充電中、保管中に電池に異臭、発熱、変色、変形などの異常が発生した場合には、直ちに電池を機器から取り外し、使用を中止してください。
- 電池の端子が汚れている場合は、使用する前に乾いた布で端子を拭いてください。機器との接続不良により、電源の供給や充電ができなくなる可能性があります。
- 電池はメーカーが指定した付属品のみを使用してください。
- 本製品に、お客様自身で修理できる部品はありません。ユーザーが自分で製品を分解したことで損傷が発生した場合、保証の対象外となります。修理作業は資格を有する専門家が担当する必要があります。
- 電池を誤った方法で交換すると、爆発する危険があります。機器メーカーが推奨するものと同じタイプまたは同等のタイプとのみ交換してください。使用済みの電池は、電池メーカーの指示に従って廃棄してください。



このマークは、使用済みまたは廃棄された機器（電池や蓄電池を含む）を未分別都市廃棄物として処分せずに、利用可能な返却および回収システムを使用する必要があることを示しています。

注意：電池若未正確更換，可能會導致炸裂。請用原廠建議之同數或同等級的電池來更換，請依原廠指示處理廢棄電池。



Taiwan: For better environmental protection, waste batteries should be collected separately for recycling or special disposal.

台灣：為保護環境安全，廢棄電池應進行回收處理。

⚠ WARNING	
<ul style="list-style-type: none"> • INGESTION HAZARD: This product contains button cell or coin battery. • DEATH or serious injury can occur if ingested. • A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours. • KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN. • Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body. 	
⚠ WARNING	
<ul style="list-style-type: none"> • INGESTION HAZARD: This product contains button cell or coin battery. • DEATH or serious injury can occur if ingested. • A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours. • KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN. • Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body. 	

- 使用済みの電池は、地域の規制に従って、取り外してすぐにリサイクルまたは廃棄し、子供の手の届かない場所に保管してください。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。
- 使用済みの電池であっても、重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。
- 治療情報については、地域の毒物管理センターに電話してください。
- 対応電池タイプ：CR2025
- 公称電池電圧：3.0 V
- 非充電式電池は充電しないでください。
- 強制的な放電、充電、分解、(メーカー指定温度定格)を超えた加熱、または焼却は行わないでください。発散、液漏れ、爆発により怪我をしたり、化学火傷を負ったりする恐れがあります。
- 電池が極性(+および-)に従って正しく取り付けられていることを確認してください。
- 古い電池と新しい電池、異なるブランドや種類の電池(アルカリ電池、炭素亜鉛電池、充電式電池など)を混合しないでください。
- 長期間にわたって使用しない場合は、地域の規制に従って、機器から電池を取り外し、ただちにリサイクルまたは廃棄してください。
- 電池収納エリアは常にしっかりと固定してください。電池収納エリアが完全に閉まらない場合は、製品の使用を中止し、電池を取り外して、お子様の手の届かないところに保管してください。

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2024. All rights reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic®、3羽の鳥のロゴはViewSonic® Corporationの登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁(EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項: ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

注意事項 製品のシリアル番号が必要です。

国/地域	ウェブサイト	国/地域	ウェブサイト
アジア太平洋およびアフリカ			
Australia	www.viewsonic.com/au/	Bangladesh	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
Hong Kong (English)	www.viewsonic.com/hk-en/	India	www.viewsonic.com/in/
Indonesia	www.viewsonic.com/id/	Israel	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	Korea	www.viewsonic.com/kr/
Malaysia	www.viewsonic.com/my/	Middle East	www.viewsonic.com/me/
Myanmar	www.viewsonic.com/mm/	Nepal	www.viewsonic.com/np/
New Zealand	www.viewsonic.com/nz/	Pakistan	www.viewsonic.com/pk/
Philippines	www.viewsonic.com/ph/	Singapore	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	South Africa & Mauritius	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
United States	www.viewsonic.com/us	Canada	www.viewsonic.com/us
Latin America	www.viewsonic.com/la		
欧州			
Europe	www.viewsonic.com/eu/	France	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
United Kingdom	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic®ディスプレイ

保証内容:

ViewSonic®は、保証期間中、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic®は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。修理または交換用の部品またはコンポーネントは、お客様の元の限定保証に残っている期間について保証され、保証期間は延長されません。ViewSonic®は、製品に付属しているか、お客様がインストールしたサードパーティソフトウェア、認可されていないハードウェア部品またはコンポーネント（プロジェクタランプなど）をインストールした場合でも、いかなるサードパーティソフトウェアも保証しません。（「保証対象外」のセクションを参照してください）。

保証期間:

ViewSonic®ディスプレイは、購入国に応じて、最初のお客様の購入日からの光源を含むすべての部品およびすべて労働費について、1年から3年の間保証されます。

保証対象者:

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外:

- シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
- 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：
 - » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
 - » ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
 - » プログラム、データ、またはリムーバブル記憶媒体の損傷または紛失。
 - » 通常の損耗。
 - » 製品の取り外しまたは取り付け。
- 修理または交換中に発生するソフトウェアまたはデータの損失。
- 出荷による製品の損傷。
- 電力の変動や停電など、製品外部の原因。

- ViewSonicの仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- ユーザーガイドに記載されているように、所有者が定期的な製品保守を実行しないこと。
- 製品の欠陥に関係しないその他の原因。
- 静止している(移動しない)画像が長時間表示されることによる損傷(画像の焼き付きとも呼ばれます)。
- ソフトウェア - 製品に含まれている、または顧客によってインストールされているサードパーティソフトウェア。
- ハードウェア/付属品/部品/コンポーネント - 許可されていないハードウェア、付属品、消耗部品またはコンポーネント(プロジェクタランプなど)の設置。
- 製品のユーザーガイドに記載されている不適切な清掃によるディスプレイ表面のコーティングの損傷または濫用による損傷。
- 製品の壁面取り付けを含む取り外し、設置、およびセットアップサービス料金。

サービスを受ける方法:

- 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic®カスタマサポートにお問い合わせください(「カスタマーサービス」のページを参照してください)。製品のシリアル番号を提供してください。
- 保証サービスを受けるために、以下を提供してください: (a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
- 元のコンテナに保管された製品を認可されたViewSonic®サービスセンターまたはViewSonic®に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
- 最寄りのViewSonic®サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic®にお問い合わせください。

黙示の保証の制限:

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

損害の除外:

ViewSonicの責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic®は、以下の責任を負わないものとします:

- 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失（たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも）。
- 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
- 他の当事者による顧客に対するクレーム。
- ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。

州法の効果:

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また州ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の州では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

米国およびカナダ外の販売:

米国およびカナダ以外で販売されるViewSonic®製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic®またはお近くのViewSonic®販売店にお問い合わせください。中国本土（香港、マカオ、台湾除く）における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、次のURLを参照してください: <http://www.viewsonic.com/eu/>の「サポート/保証情報」。



ViewSonic®